

著者名
論文タイトル
掲載雑誌名他

1 総記

朝山 明彦
(紹介)張志江著『関公』
三国志研究 4

石川 忠久
漢詩紀行(15)桂林
修美 105

大橋 義武
近代中国における『三国演義』について 文学史評価の問題を中心とした考察
三国志研究 4

筧 文生
笑って漢文
東方 337

金山 真吾
高校国語科における唐詩学習の意義
九州中国学会報 47

黄 世中
中国古典詩詞審美二題
中国学研究論集 23

古田島 洋介
Book Review 志高き「訓読」論の登場 [中村春作・市来津由彦・田尻祐一郎・前田勉編]『「訓読」論
東アジア漢文世界と日本語』
東方 346

小南 一郎
(講演)半開きの扉の彼方に 靈魂のゆくえ
国学院中国学会報 55

小山 静子
Book Review よく練られた台湾女性史の入門書 [台湾女性史入門編纂委員会編]『台湾女性史入門』
東方 338

斎藤 希史
漢文ノート(13)菊花の精
UP38(10)

斎藤 希史
漢文ノート(12)赤壁の月
UP38(7)

斎藤 希史
漢文ノート(11)天朗気清
UP38(4)

斎藤 希史
漢文ノート(10)日下の唱和
UP38(1)

佐藤 正光
唐詩は漢詩? ことばと思考の文化位相
学芸国語国文学 41

周 文業
(講演)『三国演義』版本のデジタル化及び応用
三国志研究 4

杉山 直子
チャイナタウンの女武者 花木蘭の変容と意味 (特集 古典キャラクターの展開) (プレモダンとジェンダー)
アジア遊学 118

宋詞研究会編
施蛰存著『詞学名詞釈義』訳注稿(五)
風絮 5

高野 由紀夫
教材としての「三国志」 『十八史略』を用いた授業
漢文教室 195

竹内 孝彦
視聴覚機器を利用した漢詩の学習 パワーポイントを使った小学校における学習指導
新しい漢字漢文教育 49

田中 靖彦
三国志にまつわる故事成語
漢文教室 195

田中 靖彦
三国志関連年表
漢文教室 195

種村 和史
いかにして詩を作り事と捉えるか? 『毛詩正義』に見られる仮構認識と宋代におけるその発展
橄欖 16

種村 和史
詩によって過去の君主を刺ることは許されるか? 『毛詩正義』追刺説の考察
慶応義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション 41

田宮 文平
漢詩紀行(14)
修美 104

津田 資久
Book Review 称揚型諸葛亮評伝の集大成とその限界性[朱大謂・梁満倉著]『諸葛亮大伝』(上・下)
東方 337

中川 諭
中国の電子出版(3)中国古代小説デジタル化プログラム
東方 337

野木 繁
公開研究授業報告(「四面皆楚歌」における授業展開) 第25回全国漢文教育学会大会
新しい漢字漢文教育 49

莫 砺鋒著・緑川 英樹・大平 幸代訳
『莫砺鋒詩話』「秋」「佳節」
颯風 46

橋本 昭典
Book Review 中国古典 その先にあるより深い理解のために [坂出祥伸著]『中国古典を読む はじめの一步』
東方 338

平井 徹
大学漢文教育の展望と可能性
新しい漢字漢文教育 49

堀 誠
「河童の沙悟浄」の源流 (特集 古典キャラクターの展開) (日中の古典)

アジア遊学 118

前川 貫治
三国志迷いの旅(三)
三国志研究 4

増子 和男
獺怪異譚の盛衰をめぐって(上)
中国詩文論叢 28

松田 稔
中国の怪奇譚(特集 アジアの怪奇譚)
アジア遊学 125

松村 茂樹
日本における呉昌碩の受容 大正・昭和編(1)
中国近現代文化研究 10

溝口 貞彦
日本と中国の漢詩のとらえ方の違いについて(覚え書)
二松学舎大学人文論叢 82

三宅 崇広
センター試験漢文 雑感
新しい漢字漢文教育 49

安居 総子
国語科成立時における漢文(一) 検定期の漢文教科書を中心に
新しい漢字漢文教育 49

安田 真穂
『妬記』にみる中国小説の中の嫉妬
国文学 54(10)

弓削 俊洋
木蘭伝説の現在 中国の国語教科書と楽府「木蘭詩」
愛媛大学法文学部論集 人文学科編 26

吉田 茂樹
訳詩する活動を通して漢詩を深く読み味わわせる指導の工夫 『絶句(杜甫)』と『送元二使安西(王維)』
の実践を中心に
語文と教育 23

綿谷 直之・清水 健史
史実と民間伝承からみる三国志遺跡
三国志研究 4

2 先秦

赤井 益久
中国古代の歌謡と祭礼、復原への試み 松本雅明の詩経研究(特集 歌謡の時代)
国学院雑誌 110(11)

市川 桃子・張 延瑞訳
《詩経》新解之嘗試 以 周南・桃夭篇 と 桧風・隰有萋楚篇 為例
明海大学外国語学部論集 21

尾崎 保子
『左伝』における婦女観(20)夏姫を巡って
学苑 829

金 秀雄
『詩経』に見られる“鳥の形象” 「雅」を中心として
アジア学科年報 3

谷口 洋
『史記』にみえる秦末漢初の歌と伝説 荊軻・項羽・劉邦・呂后をめぐる歌物語
中国文学報 78

西口 智也
『詩経』桃夭編 漢文教材としての可能性
新しい漢字漢文教育 49

前田 康晴
『韓非子』二柄編二柄説教材の「修辞」を読み解く 「説得」という視点の教材分析
新しい漢字漢文教育 49

矢田 尚子
楚辞「卜居」における鄭詹尹の台詞について
東北大学中国語学文学論集 14

3 漢魏晋南北朝

安藤 信広
六朝文学のなかの【コ】庾信
創文 519

安藤 信広
三国時代の詩人と文学
漢文教室 195

池田 雅典
【蜀】劉備という英雄
漢文教室 195

石川 忠久
私の「陶淵明」(六朝学会報第十集記念特集 六朝学会研究への提言)
六朝学会報 10

上野 裕人
唐詩における曹植・丕詩の影響について 魚玄機の詩を中心として
語文と教育 23

薄井 俊二
天台山の詩歌(其一) 六朝以前(上)
埼玉大学紀要 教育学部 58(1)

薄井 俊二
天台山の詩歌(其二) 六朝以前(中)
埼玉大学紀要 教育学部 58(2)

大橋 賢一
尤袤刻本李善注『文選』に関する一考察 題目並びに作者の李善注を中心に
北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 60(1)

大橋 由治
『世説新語』と魏晋文化 言語表現
大東文化大学漢学会誌 48

小川 恒男訳
六朝楽府訳注(9)有所思(上)三首
中国学研究論集 23

大立 智沙子
陶淵明詩文における自己肯定的一人称について
中国詩文論叢 28

門脇 広文
「桃花源記」と「洞窟探訪説話」の登場人物の用きについて 二つの「桃花源記」から読み取れるもの
の検討の前提として

狩野 雄

香る身体 六朝民歌の子夜四時歌と謝恵連の「擣衣」詩を中心として
集刊東洋学 101

川合 康三

こんな研究、あったらいいな (六朝學術学会報第十集記念特集 六朝學術研究への提言)
六朝學術学会報 10

稀代 麻也子

江淹「雜體詩」の曹丕
文芸言語研究 文芸篇 56

栗山 雅央

左思「三都賦」は何故洛陽の紙價を貴めたか
中国文学論集 38

後藤 秋正

墓を詠ずる詩 南北朝末期まで
六朝學術学会報 10

斎藤 聡

「結客少年場行」について 漢から盛唐までの展開
国士館大学漢学紀要 11

佐伯 雅宣・佐藤 利行

劉孝綽詩訳注(7)
中国中世文学研究 55

佐伯 雅宣・佐藤 利行

劉孝綽詩訳注(8)
中国古典文学研究 7

佐々木 聡

『白沢園』輯校 附解題
東北大学中国語学文学論集 14

佐竹 保子

李善注「事無高翫、而情之所賞、即以為美」考 謝靈運「從斤竹澗越嶺溪行」詩の「情」の解釈に関
わって
集刊東洋学 101

佐竹 保子

『世説新語』の「賞」
六朝學術学会報 10

佐竹 保子

魏晋六朝文学における美と聖性
課題番号 19520287 平成 19 年度～平成 20 年度科学研究費 補助金(基盤研究(C)) 研究成果報告書

佐藤 利行

王羲之書翰中の語彙
広島大学大学院文学研究科論集 69

佐野 誠子

歳時詩と歳時記 六朝期九月九日詩の二つの傾向から
六朝學術学会報 10

周 沢雄著・増田 真意子訳

郁郁たり文若
三国志研究 4

沈 伯俊

(講演) 諸葛亮をめぐる疑惑を解く

三国志研究 4

仙石 知子

【魏】曹操と官渡の戦い

漢文教室 195

曾 貽芬・崔 文印・山口 謡司他訳

『中国文献学史述要』 魏晋南北朝時代の総集について

大東文化大学漢学会誌 48

高橋 康浩

【呉】戦略家としての魯肅

漢文教室 195

高橋 庸一郎

漢賦与漢字的産生

阪南論集 人文・自然科学編 44(2)

高橋 庸一郎

漢賦に記された物名と其の漢字及び字典

阪南論集 人文・自然科学編 44(2)

竹沢 英輝

『文心雕竜』総術篇と術の概念について

六朝学会報 10

谷口 洋

『史記』にみえる秦末漢初の歌と伝説 荊軻・項羽・劉邦・呂后をめぐる歌物語

中国文学報 78

戸川 貴行

東晋南朝における天下観について 王畿、神州の理解をめぐって

六朝学会報 10

富永 一登

魯迅輯『古小説鈎沈』校釈 『幽明録』(13)

中国学研究論集 22

中村 圭爾

講演記録 魏晋南北朝における公文書行政

六朝学会報 10

成田 健太郎

筆勢の生れるところ 魏晋より唐初に至る書論を中心に

中国文学報 77

長谷川 滋成

晋の「呉声歌曲」訳注(中)

東洋古典学研究 28

長谷川 滋成

晋の「呉声歌曲」訳注(上)

東洋古典学研究 27

馬場 英雄

[ケイ]嵇康のことば 思ひと位

大東文化大学漢学会誌 48

林田 慎之助

六朝文学研究への一つの提言 (六朝学会報第十集記念特集 六朝文学研究への提言)

六朝学会報 10

原田 直枝

書評 安藤信広著『[コ]庾信と六朝文学』

中国文学報 77

福井 佳夫
美文書簡の社会性をめぐって 六朝書簡論
中京大学文学部紀要 43(2)

福原 啓郎
賈誼の二十四友をめぐる二三の問題
六朝学術学会報 10

福山 泰男
曹植と「国難」 先秦漢魏文学における国家意識の一面
山形大学人文学部研究年報 6

望廬会
支遁詩訳注稿(3)
東洋古典学研究 28

牧角 悦子
建安における「文学」
三国志研究 4

松浦 史子
江淹「瑶草」考 郭璞「[ヨウ](草冠に瑶の右)草」の継承と展開
東洋文化研究所紀要 155

松岡 栄志
前人の未だ発せざるを發す 陳寅恪を読む(六朝学術学会報第十集記念特集 六朝学術研究への提言)
六朝学術学会報 10

森野 繁夫
北周における[コ]庾信
中国中世文学研究 56

森野 繁夫
沈約『宋書』謝靈運伝について
中国中世文学研究 55

森野 繁夫
斯波六郎著『陶淵明詩訳注』
新しい漢字漢文教育 49

森野 繁夫・先坊 幸子
『述異記』訳注
中国古典文学研究 7

矢嶋 美都子
六朝人の「狂」の觀念の由来と変遷 「佯狂」の変容を中心に
鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

矢嶋 美都子
ユ(广+巛)信の「狂花」に見る六朝人の「狂」の觀念について 「身を全うする」ために機能する
「狂」
鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

矢田 博士
梁の簡文帝の「珠概雜青虫」句の解釈をめぐって
中国詩文論叢 28

柳川 順子
原初的「古詩」の性格 『楚辞』九歌との関わりを手がかりとして
六朝学術学会報 10

柳川 順子
六朝文学への一視角 阮籍「詠懐詩」をめぐる雑感をもとに(六朝学術学会報第十集記念特集 六朝
学術研究への提言)

柳川 順子
漢代五言詩史上に占める蘇李詩の位置
中国文化 67

李 曉紅・石 碩訳
「柏梁詩」と七言詩 齊梁文人の選撰
中国文学研究 35

劉 楽賢
駱駝城より出土した魏晉の冥婚文書に関する考察
三国志研究 4

渡辺 義浩
「三国志」の世界
漢文教室 195

渡辺 義浩
曹丕の『典論』と政治規範
三国志研究 4

4 隋唐五代

鳥羽田 重直
李白と天台山
和洋国文研究 44

愛甲 弘志
『白氏文集』訳注稿担当後記（明治書院『白氏文集』刊行の舞台裏）
白居易研究年報 10

秋谷 幸治
「賦者古詩之流」をめぐって 白居易「賦の賦」の理解の手がかりとして
大東文化大学中国学論集 27

芦立 一郎
「詞」の言葉 楽章集と花間集
山形大学人文学部研究年報 6

石村 貴博
朗州司馬期の劉禹錫
中国語中国文化 6

益西拉姆
賈島という詩人像 虚と実のあいだ
日本中国学会報 61

市川 桃子
白居易詩の植物 中唐において
白居易研究年報 10

市原 里美
杜甫詩話訳注(4)宋『諸家老杜詩評』(4)
中国学研究論集 22

市原 里美訳
杜甫詩話訳注(5)宋『諸家老杜詩評』(5)
中国学研究論集 23

植田 渥雄
講義録『白頭翁』の話
桜美林大学紀要 日中言語文化 7

上野 裕人
唐詩における曹植・丕詩の影響について 魚玄機の詩を中心として

語文と教育 23

内田 誠一

王維と嵩山羅漢洞 「深洞長松何所有」の「深洞」の所在について
中国詩文論叢 28

埋田 重夫

白居易「就中腸断是秋天」試論 天を伴う四季表現を中心にして
中国文学研究 35

遠藤 星希

李賀の詩にあらわれた時間意識について 神女の時間、永遠の現在
日本中国学会報 61

王 運熙・楊 明・甲斐 勝二他訳

王運熙・楊明《隋唐五代文学批評史》第二編 《唐代中期の文学批評・緒論》訳注(中)中唐の詩論
福岡大学人文論叢 41(1)

大橋 賢一

尤袤刻本李善注『文選』に関する一考察 題目並びに作者の李善注を中心に
北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 60(1)

大橋 賢一

李白「黄鶴楼送孟浩然之広陵」における「煙花」の解釈
中国文化 67

岡本 不二明

古代中国に於ける怪異と小説 唐代伝奇「南柯太守伝」をめぐって
揺らぎの中の日本文化 原像・怪異・日本美術

岡本 洋之介

士大夫にとっての科举 唐代の散文に見える意識
中国言語文化研究 9

川合 安・大形 徹・柳川 順子・佐竹 保子

『隋書』音楽志訳注稿(3)
中国学研究論集 22

加固 理一郎

李商隠の政治詩 「行次西郊作一百韻」を中心にして
中国文化 67

笠井 直美・中鉢 雅量・勝股 高志・梁 音・梁 暁虹・長谷川 泰生

敦煌歌辞訳注
敦煌作品研究 1

加藤 敏

元結における「漫叟」の視座について
千葉大学教育学部研究紀要 57

門脇 広文

上海辞書出版社《唐詩鑑賞辞典》訳注稿 李商隠篇(16)
大東文化大学紀要 人文科学 47

金木 利憲

日本大学文理学部蔵 伝尊円親王筆「琵琶行」双鈎填墨本について
中国学研究論集 22

狩野 充徳

『文選音決』の音注と『文選』の解釈 「見・楽」二字を例として
日本中国学会報 61

河内 昭円

詩僧皎然と靈[テツ]澈
中唐文学会報 16

川口 喜治
孟浩然「過故人莊」詩の「郭」の解釈について
山口県立大学国際文化学部紀要 15

川口 喜治
李頎研究論著目録
アジアの歴史と文化 13

河内 利治
日中書法伝授の一形態 空海と韓方明の書法をめぐる言説について
大東文化大学・東北師範大学共同シンポジウム報告書：日本と中国の明日への架け橋 言語・文化・社会、日中比較を基軸として
大東文化大学国際交流センター 2009年12月18日発行所収

許 海華
賈島の原東居 詩的世界の現場
千里山文学論集 82

小高 修司
杜甫疾病攷
中唐文学会報 16

後藤 秋正
杜詩「渾渾」試解
語学文学 47

後藤 秋正・樋口 敏也・溝淵 由希
『杜詩引得』補記(4)
北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 59(2)

紺野 達也
王維『[モウ]輞川集』と『[モウ]輞川図』の唐宋期における評価の変遷 文人による詩画評価の視点から
日本中国学会報 61

紺野 達也
王維「終南別業」詩について “輞川”に連なるものとして
早稲田大学大学院文学研究科紀要 55(2)

今場 正美・尾崎 裕
『大平広記』夢部訳注(5)
学林 49

斎藤 聡
「結客少年場行」について 漢から盛唐までの展開
国士館大学漢学紀要 11

坂口 三樹
唐詩に揺曳する「三国志」の残影
漢文教室 195

沢崎 久和
白居易の「贈物詩」について
福井大学教育地域科学部紀要 人文科学(国語学・国文学・中国学編)59

沢崎 久和
「同宿」の詩 白居易詩の表現
未名 27

塩沢 裕仁
白居易の暮らした洛陽 その主要遺跡と水環境
白居易研究年報 10

静永 健

ゆすらうめの花の話
白居易研究年報 10

静永 健
『文苑英華』所収の杜甫詩文について(1)
文学研究 106

下定 雅弘
洛陽日記 白居易の遺跡を訪ねて
白居易研究年報 10

下定 雅弘
柳宗元と劉禹錫の「論書絶句」八首
書法漢学研究 5

下定 雅弘
表現の力学としての逸脱と規範 「閑情賦」「長恨歌」「鶯鶯伝」「河間伝」を素材として
揺らぎの中の日本文化 原像・怪異・日本美術

下定 雅弘
「河間伝」をどう読むか 女性のすさまじい性欲と末尾の訓戒
岡山大学文学部紀要 51

下定 雅弘
「長恨歌伝」をどう読むか? 楊貴妃像の検討を中心に
岡山大学文学部紀要 52

下定 雅弘
書評「尚永亮主撰『唐五代逐臣与貶謫文学研究』」
中国文史論叢 5

下定 雅弘
日本における白居易の研究 二〇〇七年
白居易研究年報 10

謝 思[イ]煒・中尾 健一郎訳
白居易の詩文と唐代墓誌
白居易研究年報 10

尚 氷亮
明初選家之唐詩觀及其淵源論略 以高[ヘイ]棟《唐詩品匯》对元和詩人之選評為中心
中唐文学会報 16

水津 有理
耳に響く詩人の「声」 アメリカ現代詩人による杜甫の肖像 David Young Du Fu: A Life in Poetry (2008)
中唐文学会報 16

鈴木 拓也
李商隱「過鄭広文旧居」詩にみえる自己認識 詩語「宋玉」のはたらきを中心に
大東文化大学漢学会誌 48

鈴木 拓也
李商隱関係研究文献目録(稿) 日本編
大東文化大学中国学論集 27

砂山 稔
桃源・白雲と重玄・本際 王維とモダンな道教
東方宗教 113

詹(せん) 満江
二月二日の詩について
杏林大学外国語学部紀要 21

傍島 史奈
詩僧と苦吟 唐の三詩僧にみる

中唐文学会報 16

高芝 麻子

白居易詩における年齢の言及

白居易研究年報 10

竹村 則行

詩日記とともに辿った白居易の貶謫の道 明治書院『白氏文集』(三、四)訳注稿の回顧メモ (明治書院『白氏文集』刊行の舞台裏)

白居易研究年報 10

橘 英範

劉白聯句訳注稿(12)

岡山大学文学部紀要 51

谷口 真由美

「秦州雜詩二十首」における詠懐と叙景

新しい漢字漢文教育 49

谷口 真由実

盛唐詩人と「狂」の気風 賀知章から李白・杜甫まで

鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

Chen Chong

『集注文選』の成立過程について 平安の史料を手掛かりとして

中国文学論集 38

中鉢 雅量

敦煌作品研究・創刊の辞

敦煌作品研究 1

中鉢 雅量

書評・項楚・張子開・譚偉・何劍平『唐代白話詩派研究』

敦煌作品研究 1

張 紅・二宮 美那子訳

王維詩に見られる空間意識

中国文学報 77

陳 念波

《捉季布伝文》校補

開篇 28

土谷 彰男

秦系伝小考 李昭[キ]玘「跋秦系詩」をめぐって

中唐文学会報 16

鄭 [セン]増謨

韓国における白居易受容の様相(上)

漢文学解釈与研究 11

寺尾 剛

王勃の金陵関係詩文 唐代金陵詩史の幕開け

愛知淑徳大学論集 文学部・文学研究科篇 34

戸崎 哲彦

白居易「醉吟先生墓誌銘」の自撰と碑刻

日本中国学会報 61

戸崎 哲彦

柳宗元塋地"万年県之少陵原,実棲鳳原"考釈(上)唐代長安南郊の"原"と"郷"

島大言語文化 27

戸崎 哲彦

宋代桂林における韓愈「送桂州嚴大夫」詩 唐・宋における「八桂」と「湘南」の変化

島大言語文化 26

中尾 一成

陳子昂 垂拱二年出征考(15)総論

千里山文学論集 82

中尾 一成

陳子昂 垂拱二年出征考(14)「感遇」其三、其三十五、其三十七

千里山文学論集 81

長瀬 由美

中唐白居易の文学と『源氏物語』 諷諭詩と感傷詩の受容について
国語と国文学 86(5)

中野 将

唐代における「古意」詩について 「楚王竟何去」の詩をめぐって
北九州市立大学外国語学部紀要 125

成田 健太郎

筆勢の生れるところ 魏晉より唐初に至る書論を中心に
中国文学報 77

馬 暁地

唐人的河湟之思

東北大学中国語学文学論集 14

長谷川 真史

元[シン]稹 樂府古題「董逃行」考

中国文学論集 38

長谷部 剛

敦煌残卷王勃詩について

関西大学中国文学会紀要 30

馬場 英雄

柳宗元の「説車」について

国学院雑誌 110(5)

葉山 恭江

「南柯太守伝」の時空と語りの枠 生き直させられた夢
集刊東洋学 102

船城 俊太郎

三卷本色葉字類抄に見いだされる唐時代の白話語の熟語 白氏文集からのそれを中心にして
人文科学研究 125

古川 末喜

詩に描かれた杜甫の生活と文学 至徳二年、杜甫四十六歳

中唐文学会報 16

堀 史人

「死」にいたる道すじ 韓愈「唐河中府法曹張君墓碣銘」をめぐって
待兼山論叢 43 文学編

松原 朗

姚合の官歴と武功礼

中国詩文論叢 28

丸井 憲

賈島の五言拗律について 杜律との比較を中心に

中国文学研究 35

丸井 憲

杜甫の五言「拗律」について(下)

中国詩文論叢 28

丸山 茂
楽天の酒(上)
白居易研究年報 10

宮下 聖俊
崔国輔「魏宮詞」の解釈の多様性について
大東文化大学中国学論集 27

森 博行
邵雍の詩と白居易・二題
大阪大谷大学紀要 43

八木 章好
詩語としての「痴」 唐詩を中心として
慶応義塾大学言語文化研究所紀要 40

矢田 尚子
唐代における男装の流行と『[カク] 虢国夫人游春図』
言語と文化 20(愛知大学)

柳川 順子
白居易の応酬詩と唐代の手紙文 (明治書院『白氏文集』刊行の舞台裏)
白居易研究年報 10

山田 和大
韋応物の終焉の状況について
中国中世文学研究 56

山田 和大
長江の「潮」はどこまで遡るか 張循之「巫山高」を手がかりに
中国中世文学研究 55

山本 敏雄
劉禹錫「泰娘歌」をめぐって(下)
愛知教育大学研究報告 人文・社会科学編 58

俞 忠 [キン] 鑫 (金が三つ) / 笠井 直美 訳
釈“莽、阿莽, 没、阿没”、“= = ”
敦煌作品研究 1

横田 むつみ
魚玄機考 詩人としての評価
二松 23

劉夢得の会
第14回劉禹錫読書会の報告
中唐文学会報 16

梁 曉虹・勝股 高志 訳
書評:陳 明娥『敦煌変文辞彙計量研究』
敦煌作品研究 1

渡辺 志津夫
韓愈の古文創作に関する一考察 「上鄭尚書相公啓」「上留守鄭相公啓」にみられる修辞上の工夫
中国中世文学研究 56

渡辺 志津夫
「駁雑無実」新考
中国中世文学研究 55

5 宋
浅見 洋二
書評:横山伊勢雄著『宋代文人の詩と詩論』
中国文学報 78

芦立 一郎

「詞」の言葉 楽章集と花間集
山形大学人文学部研究年報 6

池田 智幸・岡本 淳子・平塚 順良訳注
南宋・沈義父『楽府指迷』訳注稿(上)
風絮 5

市原 里美訳
杜甫詩話訳注(4)宋『諸家老杜詩評』(4)
中国学研究論集 22

市原 里美訳
杜甫詩話訳注(5)宋『諸家老杜詩評』(5)
中国学研究論集 23

稲垣 裕史
詩に語られた「現代史」 俞德鄰「京口遣懷 張彦明 劉伯宣郎中並びに諸友に呈す一百韻」に見る歴史叙述
中国文学報 77

内山 精也
中国言語芸術の奥義を究める詞学研究 『詞論の成立と発展 張炎を中心として』に寄せて
東方 344

内山精也
古今体詩における近世の萌芽 南宋江湖派研究事始
江湖派研究 1

王嵐
戴復古集編刻流伝攷
江湖派研究 1

王嵐・会谷 佳光訳
『錦繡万花谷』別集の編輯出版とその中の宋代佚詩
橄欖 16

大塚 秀高
宋代の通俗類書 『青瑣高議』の構成・内容よりみる
埼玉大学大学院文化科学研究科博士後期課程紀要 日本アジア研究 6

大戸 温子・加納 留美子・佐野 誠子・三瓶 はるみ・水津 有理・高芝 麻子・和田 英信
王安石五言絶句訳注稿(一)
中唐文学会報 16

大西 陽子
忠臣か狂士か 鄭思肖の執着と南宋遺民
鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

大橋 賢一
尤袤刻本李善注『文選』に関する一考察 題目並びに作者の李善注を中心に
北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編 60(1)

大橋 由治
文言小説研究序説 『夷堅志』(2)
大東文化大学紀要 人文科学 47

大森 信徳
蘇舜欽の書の評価をめぐる 欧陽修との交遊を中心にして
中国文学研究 35

岡本 不二明
斎郎考 宋代歌舞戯をめぐる一問題
中国文史論叢 5

小川 環樹・山本 和義
蘇東坡詩集補(1)
橄欖 16

加藤 国安
黃庭堅釈析 年譜・世系と十七歳までの足跡
名古屋大学中国語学文学論集 21

加納 留美子
夜雨対牀 蘇軾兄弟を繋いだもの
日本中国学会報 61

許 紅霞
由南宋詩僧詩文集看和刻本漢籍的价值
中国語中国文化 6

曉風残月会
姜白石詩訳注稿(3)
中国言語文化研究 9

金 恩景・渡瀬 淳子訳
一九八〇年以降の韓国における宋代文学研究 詩と詞の研究を中心に[含 研究論著目録]
橄欖 16

江湖派研究班
戴復古五律訳注()
江湖派研究

紺野 達也
王維『[モウ]輞川集』と『[モウ]輞川図』の唐宋期における評価の変遷 文人による詩画評価の視点から
日本中国学会報 61

坂井 多穂子
梅堯臣の後半生の交友詩 裴煜と宗敏修について
東洋大学中国哲学文学科紀要 17

坂井 多穂子
「謔(たわむ)」れを好んだ梅堯臣 「謔」字の用例を中心に
白山中国学 15

末葭 敏久
蘇軾「和陶詩」訳注 「和陶飲酒二十首」(5)
中国学研究論集 22

詹(せん) 満江
二月二日の詩について
杏林大学外国語学部紀要 21

宋詞研究会
竜榆生編選『唐宋名家詞選』訳注稿(五)
風絮 5

太平広記研究会
『太平広記』訳注(13)巻二百八十九「妖妄」(2)
中国学研究論集 22

太平広記研究会
『太平広記』訳注(14)巻二百九十「妖妄」(3)
中国学研究論集 23

高橋 良政
鄭樵について 校讎略との関連
桜文論叢 73

種村 和史
いかにして詩を作り事と捉えるか? 『毛詩正義』に見られる仮構認識と宋代におけるその発展
橄欖 16

張 鳴・中村 孝子訳
即物即理 即境即心 両宋理学家の詩における「物」と「理」に対する観照について
橄欖 16

戸崎 哲彦
宋代桂林における韓愈「送桂州嚴大夫」詩 唐・宋における「八桂」と「湘南」の変化
島大言語文化 26

西尾 和子
『太平広記』と『太平御覧』の境界 『晋書』と『南史』を手がかりに
和漢語文研究 7

西上 勝
墨竹と文学
東北大学中国語学文学論集 14

萩原 正樹
書評 松尾肇子著『詞論の成立と発展 張炎を中心として』
学林 49

萩原 正樹
第12回宋代文学研究談話会報告
橄欖 16

原田 愛
蘇軾の曾孫と南宋初期の出版 散文語彙の詩への導入とその意味用法の特徴
橄欖 16

平塚 順良
沈義甫(沈義父)の生平について
学林 49

藤原 祐子
『草堂詩余』の来源にかかわる一考察 辛棄疾詞の分析から
風絮 5

三野 豊浩
范成大の「鄂州の南楼」詩について
言語と文化 21(愛知大学)

三野 豊浩
『宋詩別裁集』に収録された北宋初期の詩人たちの七言絶句
言語と文化 20(愛知大学)

村越 貴代美
江南の遷客、狂言す 周邦彦
鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

森 博行
邵雍の詩におけるレトリック 「旋風吟二首」について
汲古 55

山本 和義・蔡 毅・中 裕史・中 純子・原田 直枝・西岡 淳
蘇軾詩注解(四)
アカデミア 文学・語学編 85

山本 和義・蔡 毅・中 裕史・中 純子・原田 直枝・西岡 淳
蘇軾詩注解(五)
アカデミア 文学・語学編 86

湯浅 陽子
宋祁と古文
人文論叢 26(三重大学)

李 貴・加納 留美子訳
天聖年間の「尊韓」の風と「宋調」の初歩的完成
橄欖 16

和田 英信
王安石絶句 盆詩 の世界 王安石五言絶句訳注稿のはしがきにかえて
中唐文学会報 16

6 金・元・明

荒井 雄三
徐渭の花卉雑画 十六種花詩の画について
徐文長

荒井 雄三
徐渭の自用印
徐文長

荒木 典子
明清白話小説の疑問文について
中国文学研究 35

有木 大輔
明末福建書林劉氏試探
九州中国学会報 47

有沢 晶子
徐渭の戯曲とその影響
徐文長

池田 雅典
【蜀】劉備という英雄
漢文教室 195

和泉 ひとみ
続・沈周詩の表現について 既存表現の独創的発展
関西大学中国文学会紀要 30

和泉 ひとみ
沈周詩の表現について 詞及び非伝統的表現の使用を中心に
明人とその文学

妹尾 達彦
書評 中国的、文学的近代 大木康『明清文学の人びと 職業別文学誌』
創文 521

上原 徳子
万曆五年の情死事件についての一考察
明人とその文学

氏岡 真士
百二十四回本『水滸伝』について
汲古 56

氏岡 真士
論《孫[ホウ]龐演義》与元代平話的關係
人文科学論集 文化コミュニケーション学科編 43

大賀 晶子
『竜会蘭池録』について もう一つの『拜月亭』
明人とその文学

大木 康
中国明清の歌謡 (特集 歌謡の時代)
国学院雑誌 110(11)

大塚 秀高
神話と創作 逆流と抱擁をめぐって
埼玉大学紀要 教養学部 45(1)

奥野 新太郎
元代文学における「采詩」 劉辰翁の佚稿『興觀集』『古今詩統』をめぐって
九州中国学会報 47

片倉 健博
三国志演義』のストーリー形成の一考察 雑劇『襄陽会』と『博望焼屯』を中心に
中国古典小説研究 14

片倉 健博
『草廬記』の構成について 『三国志演義』および雑劇との関連を中心に
三国志研究 4

勝山 稔
「三言」「二拍」発見者再考
中国古典小説研究 14

川 浩二
「明太祖遊武廟」物語の成立と展開 武成王廟から歴代帝王廟へ
中国都市芸能研究 8

河内 利治
徐渭の書法美学
徐文長

元詩研究会
戴表元詩訳注(4)
琉球大学言語文化論叢 6

呉 宛怡
明清時代の演劇作品における女侠の形象について 『紅払記』、『識英雄紅払莽捩配』、『墨[カン]斎重
定女丈夫伝奇』を中心に
饗饗 17

胡 曉真・木下 雅弘訳
前には奢香有りて後には良玉 明代西南女土司の女性民族英雄、構築されるそのイメージ
中国文学報 78

呉 紅華
周作人の李卓吾評価をめぐって
日本中国学会報 61

Kou I
『三言二拍』中の「離合集散」物語について プロットの「機能」説による分析の試み
神奈川大学大学院言語と文化論集 15

小塚 由博
徐渭の交友関係
徐文長

小松 謙
『平妖伝』成立考
明人とその文学

蔡 麗玲
西湖文学与張岱的人生
関西大学中国文学会紀要 30

佐藤 敦子
徐渭年譜
徐文長

四方 美智子
中国古典小説における酒の役割 『竜図公案』を中心として
千里山文学論集 81

尚 氷亮
明初選家之唐詩觀及其淵源論略 以高[ヘイ]棟《唐詩品匯》对元和詩人之選評為中心
中唐文学会報 16

菅原 尚樹
「大桑村」の人 『至治新刊全相平話三国志』に見える地名に関する一考察
三国志研究 4

菅原 尚樹
「今～是也」考 「全相平話」の地理に関する覚え書き
集刊東洋学 101

菅原 尚樹
『新刊全相平話樂毅図斉七国春秋後集』における地理・地名について
文化 73(1・2)

仙石 知子
【魏】曹操と官渡の戦い
漢文教室 195

仙石 知子
明清小説に描かれた不再娶
東方学 118

仙石 知子
毛宗崗本『三国志演義』に描かれた曹操臨終の場面について 明清における妾への遺贈のあり方を手がかりに三国志研究 4

曹 虹著・大平 幸代訳
明代女性古文家の登場
明人とその文学

高橋 幸吉
金末における韓門の受容(下)
中国詩文論叢 28

高橋 康浩
【呉】戦略家としての魯肅
漢文教室 195

田口 一郎
唐順之の生涯と文学論
明人とその文学

竹下 咲子
金聖歎批評の源流を探る 百二十回本『水滸伝』李卓吾批評を中心に
和漢語文研究 7

谷口 匡
徐渭の散文
徐文長

田淵 欣也
雜劇「謝金吾詐拆清風府」について
中国学志復号

田村 彩子

孫臏と龐涓の物語
明人とその文学

趙 善嘉・荒井 礼訳
徐文長の伝説
徐文長

陳 文輝
杜仁傑の文学論
中国研究集刊 48

戸田 聖子
『金瓶梅』の試み ある情事の描写より
東北大学中国語学文学論集 14

中川 諭
(紹介)小日向えり著『恋する三国志』
三国志研究 4

中塚 亮
『封神天榜』の成立について 『封神榜』との関係から
中国古典小説研究 14

二ノ宮 聡
炳靈公信仰と『封神演義』
関西大学中国文学会紀要 30

二ノ宮 聡
炳靈公信仰と『封神演義』
関西大学中国文学会紀要 30

野村 鮎子
明代における非古の文体と女性
明人とその文学

白 蓮杰
耶律楚材の辺塞詩について
お茶の水女子大学中国文学会報 28

広沢 裕介
明末の蘇州と揚州の物語 短篇白話小説集『警世通言』から
明人とその文学

広瀬 玲子
誰も死なない 元雑劇「留鞋記」試論
中国哲学研究 24

福永 美佳
五代史故事における女たち 脈望館鈔本「哭存孝」を中心に
中国文学論集 38

松村 昂
袁宏道の詩「答李子髯」二首をめぐって
明人とその文学

宮 紀子
陳元[セイ]靚『博聞録』について
汲古 56

村越 貴代美
『魏氏楽譜』中の詞について
風絮 5

村田 和弘
徐渭の詞について 代応制と女性をテーマとする詞を中心に

徐文長

湯谷 祐三

孫悟空の造形と六祖慧能の伝記 明刊『西遊記』と禅宗史書の出会いの場
名古屋外国語大学外国語学部紀要 37

姚 偉嘉

成化本《花関索伝》校正二則
開篇 28

林 桂如

余象斗の日用類書『三台万用正宗』と小説『北遊記』『南遊記』について 玄天上帝・五顯靈觀(華光)
を中心として
東方学 118

鷺野 正明

徐渭の文学思想
徐文長

鷺野 正明

徐渭の詩と「神」
徐文長

渡辺 義浩

「三国志」の世界
漢文教室 195

7 清

荒木 典子

明清白話小説の疑問文について
中国文学研究 35

妹尾 達彦

書評 中国的、文学的近代 大木康『明清文学の人びと 職業別文学誌』
創文 521

清・袁学瀾撰・孫克強整理

適園論詞
風絮 5

大木 康

中国明清の歌謡(特集 歌謡の時代)
国学院雑誌 110(11)

大淵 貴之

蔣廷錫による『古今圖書集成』挿図の改編について 日本内閣文庫所蔵『古今圖書集成図纂』を手が
かりとして
中国文学論集 38

岡崎 由美

清代小説『繡戈袍全伝』成書考 木魚書『繡戈袍全本』および弾詞『倭袍伝』との比較から
早稲田大学大学院文学研究科紀要 55(2)

小川 恒男

郁曼陀「東京雑事詩」訳注(一)
中国古典文学研究 7

小川 恒男

明治の東京を描いた詩(1)郁曼陀の「東京雑事詩」
中国中世文学研究 55

賈 菁菁

二十世紀初の男性知識分子与婦女解放 以金松岑和《女界鐘》為中心
愛知論叢 87

呉 宛怡
明清時代の演劇作品における女侠の形象について 『紅払記』、『識英雄紅払莽択配』、『墨[カン]斎重
定女丈夫伝奇』を中心に
饗餐 17

顧 春芳
論《品花宝鑑》中的文人与園林芸術
言語と文化 8 (大阪府立大学)

黄 遵憲・林 香奈訳・劉 雨珍訳
黄遵憲「日本雑事詩」訳注稿(14)
未名 27

合山 究
性同一性障害者小説としての『紅樓夢』 賈宝玉の人物像をめぐって
東方 342

小島 明子
王国維の「人間」について 連帯としての「ジンカン」と「ニンゲン」
お茶の水女子大学中国文学会報 28

小塚 由博
余懐と妓女 初期作品を中心に
大東文化大学漢学会誌 48

後藤 裕也
車王府本鼓詞『三国誌』成立考 省略について
関西大学中国文学会紀要 30

後藤 裕也
読み物としての『絵図三国志鼓詞』 車王府本鼓詞『三国誌』との比較を通じて
中国古典小説研究 14

後藤 裕也
租賃本「三国志」鼓詞について
三国志研究 4

蔡 麗玲
西湖文学与張岱的人生
関西大学中国文学会紀要 30

渋井 君也
「淇水遺風」と『詩経』の「衛女帰るを思ふ」 『紅樓夢』における瀟湘館の扁額について
中国古典小説研究 14

蕭 燕婉
清代の閨秀詩人王貞儀について その「脂粉の気を除去する」説を中心に
中国文学論集 38

蕭 涵珍
李漁の小説における同性愛 真情と礼教の角度から
日本中国学会報 61

鈴木 敏雄
王船山「傲昭代諸家体(三十八首)」所収の「顧秀才開雍(慟哭)」詩について
中国中世文学研究 56

銭 鷗
学・智・人的理念 試論王国維与晚清興学育才的思想契機
言語文化 12(1)

仙石 知子
明清小説に描かれた不再娶
東方学 118

仙石 知子
毛宗崗本『三国志演義』に描かれた曹操臨終の場面について 明清における妾への遺贈のあり方を手がかりに
三国志研究 4

蘇 建新
林訳小説《巴黎茶花女遺事》的訛伝
清末小説から 93

竹村 則行
『長生殿』解釈史考 附『長生殿』版本志
文学研究 106

樽本 照雄
清末小説目録の最新成果 劉永文編『晚清小説目録』について
東方 339

樽本 照雄
「老残遊記」執筆経過の謎(1)書簡集『滄榕書札』に見る
清末小説から 93

樽本 照雄
「老残遊記」執筆経過の謎(2・完)書簡集『滄榕書札』に見る
清末小説から 94

中野 清
『子不語』の鬼求代説話の顛末
中国詩文論叢 28

新村 容子
「宣南詩社」に関する覚書
岡山大学文学部紀要 51

武 禧
晚清小説作者掃描(18)
清末小説から 93

福本 雅一監修
尤侗『擬明史樂府』訳注(八)
中国詩文論叢 28

船越 達志
巧姐の「忽大忽小」と林黛玉の死 『紅樓夢』後四十回の構想考
日本中国学会報 61

三田 明弘
『聊齋志異』の狐女と女鬼(特集 古典キャラクターの展開) (プレモダンとジェンダー)
アジア遊学 118

三好 章
光陰似箭 陳円円と呉三桂のこと
中国研究月報 63(10)

森中 美樹
維経堂蔵板『繡像紅樓夢』について
汲古 56

山口 博子
『耳食録』について
人文論叢 37

山口 博子
楽鈞と『耳食録』 その交遊を中心に
中国学志復号

8 近、現代

秋吉 久紀夫訳
昌耀の詩二編（中国）
天山牧歌 83

秋吉 久紀夫
新疆ウイグル自治区の詩人たち
中国文学評論 34

秋吉 久紀夫
訳注：俞芳著『我記憶中的魯迅先生（3）』「北京磚塔胡同 61 号 魯迅先生住過的地方」
中国文学評論 35

秋吉 久紀夫
魯迅『野草』におけるタゴール、徐志摩の影響について
中国文学評論 35

秋吉 収
Book Review "媒体日本"を追求する新世代の魯迅研究 [工藤貴正著]『魯迅と西洋近代文芸思潮』
東方 336

阿部 範之
小山三郎編著『台湾映画 台湾の歴史・社会を知る窓口』（特集:書評）
野草 84

阿部 範之
『舞台の姉妹』の反時代性 中国映画と舞台芸術を巡るアプローチから
言語文化 12(1)

Alexander Saechtig・鈴木 正夫解題
ドイツにおける中国現代文学の研究と翻訳状況
中国文芸研究会会報 337

池上 貞子
席慕容における詩と原郷 日本語版アンソロジーを中心に
跡見学園女子大学文学部紀要 42(2)

池上 貞子
張愛玲の遺作『小団円』の出版から
東方 342

石田 卓生
高島俊男『天下之記者 「奇人」山田一郎とその時代』（特集:書評）
野草 84

伊藤 徳也
「審美主義」について
中国文芸研究会会報 332

伊藤 徳也
生活のための生活 周作人における「生活の芸術」
東洋文化研究所紀要 155

伊藤 竜平
昔話唱歌・唱歌劇と植民地下台湾の国語教育（特集 歌謡の時代）
国学院雑誌 110(11)

今泉 秀人
82号合評 齊藤大紀 于[コウ]廣虞の詩 3.18事件、『晨报・詩鐫』をめくって
野草 83

岩佐 昌暲
日本における郭沫若の紹介・研究 90年
熊本学園大学文学・言語学論集 16(2)

宇野木 洋
北京発「小道消息」その2
中国文芸研究会会報 327

宇野木 洋
北京発「小道消息」その3
中国文芸研究会会報 328

宇野木 洋
北京発「小道消息」その4
中国文芸研究会会報 329

宇野木 洋
「啓蒙」をめぐる格闘 建国後六〇年の文学的営為をめぐる覚書 (建国 60 周年特集)
季刊中国 98

宇野木 洋
「文芸思想闘争」の実態に関わる研究の現在 李向東・王増如『丁陳反党集団冤案始末』の紹介を兼ねて (特集:書評)
野草 84

海野 弘
Book Review 同時代のすべての人々に通じるクィア文学 [編集委員:黄英哲・白水紀子・垂水千恵]『台湾セクシャル・マイノリティ文学』
東方 341

王 姿雯
国際共同シンポジウム「帝国主義と文学 植民地台湾・中国占領区・『満州国』」について(上)
中国文芸研究会会報 327

王 姿雯
国際共同シンポジウム「帝国主義と文学 植民地台湾・中国占領区・『満州国』」について(下)
中国文芸研究会会報 329

大野 陽介
83号合評 高峽 人力車の北京 『駱駝祥子』と都市交通
野草 84

大野 陽介
"紅嫂"作品の成立とその女性像
野草 83

大橋 義武
中国の近代における白話小説の「古典化」について 雑誌『新青年』上の討論をめぐって
中国研究月報 63(8)

大東 和重
郁達夫における大正の自伝的恋愛小説の受容 『懺悔録』・『受難者』・『新生』
野草 84

小笠原 淳
王蒙小説文体試論 「最宝貴的」と「光明」の比較を通して
未名 27

小川 利康
書評:子安加余子『近代中国における民俗学の系譜 国民・民衆・知識人』
現代中国 83

岡村 民夫
詩人黄瀛の光栄 書簡性と多言語性
言語と文化 6 (法政大学)

賈 菁菁
男権話語場中的女性建構 以陳学昭為例論五四之后知識女性的女性意識
愛知論叢 86

夏 嵐
翻訳と出版からみた中国における外国戯曲の受容
中国文学報 78

夏 嵐
中国におけるシェイクスピア戯曲の翻訳と出版
富山大学人文学部紀要 51

加藤 国安
中国社会科学院蔵青木正児書簡について 胡適との往復書簡
名古屋大学文学部研究論集 文学 55

加藤 三由紀
1978年前後の中国小説 傷痕文学再評価
現代中国 83

加藤 三由紀
中国文学あれこれ(85)ある中国農民の六〇年 『農民日記』を読む
季刊中国 96

加藤 三由紀
中国郷村文学の現代的意味 (中国当代文学 60年シンポジウム)
日本中国当代文学研究会会報 23

加藤 三由紀
賈平凹『高興』 閩土イメージからの救出
日本中国当代文学研究会会報 23

釜屋 修
[日本中国当代文学研究会]例会報告概要 2008年11月 毛里和子『日中関係 戦後から新時代へ』を読む
日本中国当代文学研究会会報 23

釜屋 修
中国文芸家 REQUIEM 2008年8月～2009年7月
日本中国当代文学研究会会報 23

神谷 まり子
黒幕小説の女性像について 『中国黒幕大観』
野草 83

川路 祥代
二二八事件と阿里山ツォウ族 (特集 朝鮮・台湾・「満洲」) (特集 近代の日本と台湾(8))
植民地文化研究 8

カンルオ ウェンチン・秋吉 久紀夫訳
現代中国チベット族の詩(2)
天山牧歌 82

岸田 憲也
郭沫若の訪日と福岡・九州大学
九州中国学会報 47

岸田 憲也
九州大学所蔵の郭沫若「盈盈灘水碧羅紈」詩軸について 「舟游陽朔二首」其二の解釈と関連させて
中国文学論集 38

木谷 富士子
張芸謀映画における女性表象
お茶の水女子大学中国文学会報 28

絹川 浩敏
中国文学あれこれ(86)抗戦時期中国人留日学生の出版活動 「海燕書店」を中心にして
季刊中国 97

許 介麟

朝鮮と台湾(下)日本植民地統治の比較 (特集 朝鮮・台湾・「満洲」) (特集 近代の日本と台湾(8))
植民地文化研究 8

久保 卓哉

林芙美子蔵積芝峰七言絶句について
福山大学人間文化学部紀要 9

久呂澄 狂介

芸術形式は何処へ行くべきか (特集 朝鮮・台湾・「満洲」) (新発見作品 詩誌『燕人街』抄(4)評論篇(中))植民地文化研究 8

桑島 由美子

中国知識界は西欧ポストモダニズムをどう見るか 批判的受容から「日常生活の審美化」まで
言語と文化 21(愛知大学)

桂 暁風

改革開放 30 年、中国出版業の成果と発展状況 有益なサービスの提供と大きな進歩
出版ニュース 2164

呉 燕

从 MS.FOUND IN A BOTTLE 到《冰洋双鯉》
清末小説から 94

呉 紅華

周作人の李卓吾評価をめぐって
日本中国学会報 61

呉 孟晋

民国期中国におけるシュルレアリスムの夢と現実 中華独立美術協会の「超現実主義」について
現代中国 83

黄 英哲

書評 黄俊傑・白井進訳 東方書店『台湾意識と台湾文化 台湾におけるアイデンティティの歴史的
変遷』
中国研究月報 63(6)

高 媛訳・劉 海燕他訳

共訳 徐志摩「西湖記」
言語文化論集 30(2)

黄 漢青

新民印書館について
慶応義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション 41

高 峽

人力車の北京『駱駝祥子』と都市交通
野草 83

黄 錦樹・羽田 朝子訳

マレーシア中国語文学と 国家 民族主義(上)現代マレーシア中国語文学の傷痕について (特集 朝鮮・
台湾・「満洲」) (特集 近代の日本と台湾(8))
植民地文化研究 8

寇 振鋒

『三十三年の夢』の漢訳本『三十三年落花夢』について
言語文化論集 31(1)

寇 振鋒

関于 1936 年郁達夫訪日
名古屋大学中国語学文学論集 21

寇 振鋒・田村(大田)加代子訳

1936 年の郁達夫訪日について

小島 久代

城谷武男著・角田篤信編『沈從文研究 わたしのばあい』を読む(特集:書評)
野草 84

小谷 一郎

文献資料の「虚」と「実」 田漢研究を通して(一)
中国文芸研究会会報 328

小谷 一郎

資料の「虚」と「実」 田漢研究を通して(二)
中国文芸研究会会報 330

小谷 一郎

言殿 という雑誌 東京左連再建後の中国人日本留学生が出していた諸雑誌について(十七)
中国文芸研究会会報 331

小山 三郎

台湾現代文学史のなかの1970年代 中国大陸との確執を映し出した文学現象
杏林大学外国語学部紀要 21

是永 駿

中国詩の現在に触れる 北島来日、朗読と講演から
東方 342

近藤 正義

王蒙「組織部来た個年輕人」に描かれた「官僚主義」について
中国言語文化研究 9

崔 淑芬

日本における郭沫若の遺跡の一考察
筑紫女学園大学・短期大学部人間文化研究所年報 20

斎藤 慎爾

ブックハンティング 2009 『中国文化大革命の大宣伝』草森紳一著
出版ニュース 2179

斎藤 敏康

中国文学あれこれ(88)施蛰存『上元灯』の世界
季刊中国 99

斎藤 秀昭

満洲新聞』文芸主要目次(3)自 一九三九年九月一日(第九五五三号) 至 一九四〇年三月三十一日(第九七六
四号)(特集 朝鮮・台湾・「満洲」)
植民地文化研究 8

山君 訳

王得后先生自述の四 わたしはもう三度死んだ
颯風 46

塩旗 伸一郎

[日本中国当代文学研究会]例会報告概要 2008年12月 韓少功「第四十三頁」
日本中国当代文学研究会会報 23

吉狄 馬加・秋吉 久紀夫訳

吉狄馬加の詩六編
天山牧歌 83

篠垣 鉄夫

同人雑誌運動の存在理由 ブルジョア・ジャーナリズムの跳梁に抗して(特集 朝鮮・台湾・「満洲」)
(新発見作品 詩誌『燕人街』抄(4)評論篇(中))
植民地文化研究 8

島 由子

83号合評 杉江叔子 王安憶『我愛比爾』における一考察 「柏樹」が喚起するノスタルジア
野草 84

島崎 英威
海外出版レポート 中国 「国学ブーム」に沸く中国!
出版ニュース 2164

島崎 英威
海外出版レポート 中国 ネット文学大繁盛
出版ニュース 2167

島崎 英威
海外出版レポート 中国 第十七回台北国際書展
出版ニュース 2170

島崎 英威
海外出版レポート 中国 新武俠小説の始祖・梁羽生、死去
出版ニュース 2173

島崎 英威
海外出版レポート 中国 再び張愛玲ブーム!
出版ニュース 2175

島崎 英威
海外出版レポート 中国 「中国は不機嫌だ」(中国不高興)
出版ニュース 2181

島崎 英威
海外出版レポート 中国 『1Q84』と中国
出版ニュース 2184

島崎 英威
海外出版レポート 中国 汚職、出版界を走らす!
出版ニュース 2187

島崎 英威
海外出版レポート 中国 学界の両巨星、同日に逝去!
出版ニュース 2190

島崎 英威
海外出版レポート 中国 建国 60 周年の中国出版界
出版ニュース 2196

下出 鉄男
文学テキストとしての「史料」 ラナ・ミターによる杜重遠の「反日」言論の解釈をめぐって
日本中国当代文学研究会会報 23

下出 宣子
[日本中国当代文学研究会]例会報告概要 2009年4月 査建英『八十年代訪談録』より「阿城」
日本中国当代文学研究会会報 23

徐 曉紅
施蛰存の第一小説集『江干集』をめぐって
中国文芸研究会会報 334

蔣 涛
清末の北京における芝居改良運動 『京話日報』を中心に
愛知県立大学大学院国際文化研究科論集 10

蕭 紅著・中里見 敬訳
蕭紅「生死の場」(下)
言語科学 44

白井 重範
茅盾「追求」試論 あるいは徒花的ポストモダニティ

国学院雑誌 110(7)

代田 智明

書評:岡田祥子訳・編 幻冬舎ルネッサンス『新中国を生きた作家 蕭乾』
中国研究月報 63(10)

代田 智明

書評:山田敬三著 大修館書店『魯迅 自覚なき実存』
中国研究月報 63(8)

代田 智明

竹内好『近代とは何か』『近代の超克』再読
中国研究月報 63(7)

城間 正人

『興農』(日本語版全五三冊)細目(3)自 一九四一年一二月 至 一九四二年五月 (特集 朝鮮・台湾・「満洲」)
植民地文化研究 8

城山 拓也

劉呐鷗の文学観 『色情文化』、『都市風景線』に注目して
野草 83

杉江 叔子

王安憶『我愛比爾』における一考察 「柏樹」が喚起するノスタルジア
野草 83

杉野 元子

民族と民族の狭間を生きた作家李如雲の人と文学について
芸文研究 96

杉村 安幾子

銭鍾書『困城』解説(1)「近代」中国のさまよえる知識人達
言語文化論叢 13(金沢大学)

杉村 安幾子

「二十にして狂ならざるは志気没し」 銭鍾書『写在人生边上』と『困城』
鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

鈴木 将久

丸尾常喜先生から学んだこと (追悼 丸尾常喜先生 丸尾常喜先生 人と学問)
野草 83

鈴木 基子

張愛玲の作品に潜む中国の伝統的価値観 『秧歌』を例にして
研究紀要 61 日本大学経済学研究会

石 其琳

中国現代文学作品集《小小説十五家》における表現の時代的特徴についての一考察
筑紫女学園大学・短期大学部人間文化研究所年報 20

瀬辺 啓子

方方の「家」 「出門尋死」に見る家族と武漢
文学部論集 93

銭 理群著・森 雅子訳

周作人伝(八)
颯風 46

田井 みず

八十年代文学再読 韓少功「[八]爸[八]爸[八]爸」 「醜悪」と「崇高」とをめぐって
日本中国当代文学研究会会報 23

高橋 明郎

中華民国 80 年の社会 『少年大頭春的生活週記』の台湾(兩岸関係編)

香川大学経済論叢 81(4)

高橋 俊
修養する青年たち 『生活週刊』と新しい労働観の生成
野草 83

竹内 航治
青木正児・胡適秘蔵往復書簡集補正
名古屋大学中国語学文学論集 21

田中 洋子
「池莉を囲む座談会」について
中国文芸研究会会報 338

田中 洋子
82号合評 張軼欧 小説『中国式離婚』におけるヒロインの人物像について
野草 83

谷 行博
山田敬三著『魯迅 自覚なき実存』(特集:書評)
野草 84

谷本 澄子
『哈爾濱日日新聞』文化系主要目次(1)自 1934年12月2日(第4035号) 至 1937年4月27日(第4872号)
(特集 朝鮮・台湾・「満洲」)
植民地文化研究 8

樽本 照雄
瀬戸宏報告を評する
清末小説から 92

樽本 照雄
セルバンテス最初の漢訳小説
清末小説から 95

中国近現代文化研究会編
学衡派関連刊行物序跋訳叢(1)
中国近現代文化研究 10

張 欣
「楊紅桜ブーム」から中国児童文学の現状を見る
中国研究月報 63(9)

張 之路著・渡辺 晴夫訳
シィア・ユイ先生(夏雨)
中国児童文学 19

張 新力
日本の『蟹工船』ブームと中国の国語教科書からの『包身工』の削除について
言語と文化 20(愛知大学)

張 新力訳・鹿又 玲子校正
包身工 夏衍著
言語と文化 21(愛知大学)

張 静
胡適の旧白話小説について 啓蒙小説「真如島」を中心に
愛知県立大学大学院国際文化研究科論集 10

陳 燕琪
老舍『微神』とダンテ『神曲』 イギリス・ロマン主義およびモダニズムを媒介とする影響関係をめぐって
東方学 118

陳 朝輝

魯迅と蔵原惟人
東方学 117

辻田 正雄
文革期の出版について
文学部論集 93

土田 秀明
毛沢東『矛盾論』の構想に関する一考察 毛沢東の抗日戦争観を中心に
仏教大学大学院紀要. 文学研究科篇. (37)

坪井 秀人
二重言語性を生きる 李箱の詩について
野草 84

津守 陽
「郷土」をめぐる時間形式 沈從文と「不変の静かな郷村」像
日本中国学会報 61

丁 怡萌
浅論台湾当代文学中離散情懷与主体性
愛知論叢 86

丁 怡萌
李永平《吉陵春秋》の時空[コウ] 构架及其叙事功能
愛知論叢 87

鄭 春子・筒石 賢昭
中国の伝統戯劇文化「越劇」の研究(その1)成立過程と役柄の特徴
東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 61

とう しょう
Book Review 「大衆電影」から「小衆電影」へ [格非・賈樟柯等著]『一個人的電影』
東方 339

徳間 佳信
たったひとりの「長征」 張承志「北方的河」を読む
日本中国当代文学研究会会報 23

徳間 佳信
八十年代文学再読 方方「風景」
日本中国当代文学研究会会報 23

豊田 周子
「潜在創作」としての呉濁流『胡志明』論
現代中国 83

内藤 忠和
胡正文学における物語 中篇・短篇小説を中心に
島大言語文化 26

中 裕史
郭沫若におけるキリスト教の受容 小説『落葉』からみえるもの
中国文学報 78

永井 英美
83号合評 神谷まり子「黒幕小説の女性像について 『中国黒幕大観』」を読む
野草 84

永井 英美
「丸尾魯迅」の諸相 ご著書を振り返って(追悼 丸尾常喜先生 丸尾常喜先生 人と学問)
野草 83

中井 政喜
山田敬三著『魯迅 自覚なき実存』をめぐっての感想

季刊中国 99

中島 長文
中国小説史略考証(第 28)
中国文学報 77

中島 長文
中国小説史略考証(第 29)序跋及補訂
中国文学報 78

中野 徹
83号合評 大野陽介 "紅嫂"作品の成立とその女性像
野草 84

中野 知洋
張若谷における史と写実(1)
大阪教育大学紀要 1 人文科学 57(2)

中野 知洋
曾今可と『台湾詩壇』
学大國文 52

中村 みどり
書評: 嚴安生著 岩波書店『陶晶孫 その数奇な生涯 もう一つの中国人留学精神史』
中国研究月報 63(10)

中村 みどり
陶晶孫のプロレタリア文学作品の翻訳(続) 人形座、築地小劇場との関わり
中国文学研究 35

成家 徹郎
日中友好の断層 郭沫若と文求堂田中慶太郎(上)
東方 343

成家 徹郎
日中友好の断層 郭沫若と文求堂田中慶太郎(下)
東方 344

西田 勝
逮捕寸前の野川隆 (特集 朝鮮・台湾・「満洲」) (特集 「満洲国」文化の性格(8))
植民地文化研究 8

西田 勝
新発見作品 詩誌『燕人街』抄(4)評論篇(中)(特集 朝鮮・台湾・「満洲」)
植民地文化研究 8

西田 勝
野川隆の詩と評論(続)(特集 朝鮮・台湾・「満洲」)
植民地文化研究 8

西野 由希子
「日常」にひそむ「異常」 施蛰存の「怪奇幻想小説」
鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

野崎 重敦
『チャイナタウンの女武者』における女性像 ある中国系アメリカ人作家と中国
愛媛大学法文学部論集 人文学科編 26

野原 敏江
当代文学を飛翔する鳥のイメージ 80年代から現在までの少年少女が主人公の作品を中心に(中国当代文学 60年シンポジウム)
日本中国当代文学研究会会報 23

野間 信幸
中国現代文学への共感 魯迅「風箏」と巴金「懐念胡風」をつなぐも

東洋大学中国哲学文学科紀要 17

野間 信幸・馬 雪峰訳
对中国現代文学の共鳴 使魯迅的<風箏>和巴金的<懷念胡風>相聯接的精神
東洋大学中国哲学文学科紀要 17

波多野 真矢
胡適と京劇
国学院中国学会報 55

羽田 朝子
胡適の結婚と『四十自述』の母親像
女性史学 19

浜田 麻矢
Book Review 個人全集を編むことの難しさ、面白さ、素晴らしさ [王風編]『糜名集』(全六卷)
東方 341

浜田 麻矢
書評 北島・李陀主編『七十年代』
未名 27

平居 高志
一九四〇年の重慶・桂林・延安 左翼(抗日)音楽運動史の一断面
集刊東洋学 101

平野 和彦
日中近代における伝統芸術解釈の二面性(上)「画」と「美術」の認識をめぐって
山梨国際研究 4

平林 純
「超現実主義(シュールリアリズム)」について (特集 朝鮮・台湾・「満洲」) (新発見作品 詩誌『燕
人街』抄(4)評論篇(中))
植民地文化研究 8

武 禧
晚清小説作者掃描(19)
清末小説から 94

武 禧
晚清小説作者掃描(20)
清末小説から 95

福家 道信
「文革」中の沈從文の小説 「来的是誰？」
文学・芸術・文化 21(1)

藤井 美恵子
劉西渭 自我和風格
中国文芸研究会会報 334

藤井 美恵子
劉西渭 自我和風格 (二)
中国文芸研究会会報 335

藤沢 太郎
1934年・北京・京派をめぐる文壇史 1930年代「京海(北京・上海)」文学関係試論
桜美林大学紀要 日中言語文化 7

藤野 真子
海上明麟茶園別館 第六場
中国文芸研究会会報 329

藤野 真子
馮子和と『血淚碑』

言語と文化 12(関西学院大学)

藤村 裕一郎

中国文学あれこれ(87)戦記小説『肉弾』とその中国語訳をめぐって 『肉弾』から『旅順実戦記』へ (建国 60 周年特集)
季刊中国 98

布施 直子

[日本中国当代文学研究会]例会報告概要 2009 年 7 月 范小青「城郷簡史」「父親還在漁隱街」
日本中国当代文学研究会会報 23

牧野 格子

謝冰心における「問題」と「主義」
国学院中国学会報 55

松浦 恒雄

「京劇と現代中国社会 第三回京劇学国際学術研討会」に参加して
中国文芸研究会会報 332

松浦 恒雄

「救救孩子……」日本語訳小考
日本中国当代文学研究会会報 23

松浦 恒雄

田漢『白蛇伝』の現代性
野草 83

松村 茂樹

張楊映画が描くもの 「世代」と「父子」
コミュニケーション文化論集 7

松村 志乃

[日本中国当代文学研究会]例会報告概要 2009 年 1 月 王安憶の文学観について
日本中国当代文学研究会会報 23

丸尾 勝

魯迅の「無治主義」について
中国言語文化研究 9

三須 祐介

申曲俳優日記 1942 年上海地方劇俳優の日常 第 4 回
中国文芸研究会会報 328

三須 祐介

台湾におけるクィア/酷児と文学 台湾セクシュアル・マイノリティ文学シリーズ(作品社)(特集:書評)
野草 84

三須 祐介

82 号合評 藤野真子 周信芳と「劇評家」
野草 83

山内 一恵

1924 年、魯迅の周辺 女師大と女師大附属中学を通じて
中国文芸研究会会報 330

山内 一恵

1924 年、魯迅の周辺 女師大と女師大附属中学を通じて
中国文芸研究会会報 331

山内 一恵

1924 年、魯迅の周辺 女師大と女師大附属中学を通じて
中国文芸研究会会報 333

山内 一恵

1924 年、魯迅の周辺 女師大と女師大附属中学を通じて 附属中学の在学学生・卒業生・教職員

中国文芸研究会会報 336

山内 一恵

1924年、魯迅の周辺 女師大と女師大附属中学を通じて
中国文芸研究会会報 337

山口 守

台湾文学研究の現在 歴史・言語・共同性をめぐって
中国-社会と文化 24

山本 律

清末民国初期における外国映画の受容
中国文学研究 35

遊佐 徹

蠟人形・銅像・肖像画 中国近代における身体と政治の関係についての覚書(4)
岡山大学文学部紀要 51

遊佐 徹

蠟人形・銅像・肖像画 中国近代における身体と政治の関係についての覚書(5)
岡山大学文学部紀要 52

遊佐 徹

身体論的中国近代文化史研究
科学研究費補助金[基盤研究(C)]研究成果報告書

遊佐 徹

街路と英烈 1946年の北京における「記憶の場」の形成とその現在
中国文史論叢 5

楊 曉文

試論文革時期的手抄本 以《第二次握手》《波動》《公開的情書》為例
言語文化論集 31(1)

葉 石涛・豊田 周子訳

白色時代を描く台湾文学(8)赤い靴(特集 朝鮮・台湾・「満洲」)
植民地文化研究 8

楊 冰

愛情故事背後の"百年沈哀" 從王家衛的《花樣年華》到李安的《色戒》
中国研究集刊 48

吉田 登志子

中国話劇黎明期における日中演劇交流
演劇学論集 48

吉田 世志子

「百花齊放」から「反右派闘争」の中の老舍 1957年『茶館』を中心として
関西大学中国文学会紀要 30

磊 磊生・岡田 英樹訳

「満洲国」時代の中国人作家の創作(8)放牧地にて[含 解説](特集 朝鮮・台湾・「満洲」)
植民地文化研究 8

李 愛華

“沙塵暴”を背景として描いた初めての小説
中国文芸研究会会報 329

李 瑩

第一世代「打工文学」作品の主題についての分析
現代中国 83

李 海

梁啓超は『墓中呼声』を訳したか リサールの絶命詞をめぐって
名古屋大学中国語学文学論集 21

李 存信・星野 幸代訳
抄訳:李存信『毛沢東の最後のバレエ・ダンサー』(その2)第十四~十五章
言語文化論集 31(1)

李 文卿・青木 沙弥香訳
大東亜へ邁進せよ 台湾における文学動員 (特集 帝国の周辺 対日協力政権・植民地・同盟国)
中国 21 31

劉 岸偉
周作人伝 ある知日派文人の生涯(第8回)「新しき村」を尋ねて・八道湾の新居
アジア遊学 118

劉 岸偉
周作人伝 ある知日派文人の生涯(第9回)自己の園地
アジア遊学 119

劉 岸偉
周作人伝 ある知日派文人の生涯(第10回)小さな詩
アジア遊学 120

劉 岸偉
周作人伝 ある知日派文人の生涯(第11回)VITA SEXUALIS
アジア遊学 121

劉 岸偉
周作人伝 ある知日派文人の生涯(第12回)砂漠の寂寥
アジア遊学 122

劉 岸偉
周作人伝 ある知日派文人の生涯(第13回)『語系』創刊 「生活の芸術」論
アジア遊学 123

劉 岸偉
周作人伝 ある知日派文人の生涯(第14回)虎を談る 順天時報
アジア遊学 124

柳 書琴・青木 沙弥香訳
官製から民製へ(下)自我同文主義と興亜文学 (特集 朝鮮・台湾・「満洲」) (特集 近代の日本と台湾(8))
植民地文化研究 8

竜 慧藩・馮 雷 整理
回望当代文学風雨歷程 推進文学的現代化民族化 "中国当代文学六十年"国際學術研討会會議綜述 (中国当代文学60年シンポジウム)
日本中国当代文学研究会会報 23

凌 鼎年著・渡辺 晴夫訳
一枚の古い銅貨(一枚古銭幣)
虹の図書室 2(6)

廖 莉平
「運命」という視点から見た「木犀」と「洋娃娃」
野草 84

呂 元明・大久保 明男訳
南滿僻地の花喜露 田 賁 (特集 朝鮮・台湾・「満洲」) (特集 「満洲国」文化の性格(8))
植民地文化研究 8

渡辺 浩司
《還珠》の原作
清末小説から 93

渡辺 浩司
《蔓陀羅克》の原作

清末小説から 94

渡辺 浩司
《十月寒霜記》の原作
清末小説から 95

渡辺 武秀
老舍『面子問題』試論
八戸工業大学紀要 28

渡辺 晴夫
孫犁「村歌」論
国学院大学紀要 47

渡辺 晴夫
孫犁の位置 その解放区作家としての特異性
日本中国学会報 61

渡辺 晴夫
孫犁の方法 「美」を創りだす思想 (中国当代文学 60 年シンポジウム)
日本中国当代文学研究会会報 23

渡辺 晴夫
丸尾常喜さんとのこと (追悼 丸尾常喜先生 丸尾常喜先生 人と学問)
野草 83

渡辺 晴夫
中国の文学事情 その特質と文革後の展開
季論 21 4

9 民間文学、習俗

磯部 祐子
平湖 [ハツ] 鉞子書芸人に見る中国民間芸能の今
富山大学人文学部紀要 51

伊藤 竜平
昔話唱歌・唱歌劇と植民地下台湾の国語教育 (特集 歌謡の時代)
国学院雑誌 110(11)

笠井 直美・中鉢 雅量・勝股 高志・梁 音・梁 暁虹・長谷川 泰生
敦煌歌辞訳注
敦煌作品研究 1

川崎 ミチコ
『血盆経』について 北京で入手した『血盆経』版木の紹介を中心として
東洋大学中国哲学文学科紀要 17

後藤 裕也
租賃本「三国志」鼓詞について
三国志研究 4

曹 咏梅
中国少数民族の通せんぼの習俗と対歌 (特集 歌謡の時代)
国学院雑誌 110(11)

千田 大介
海寧皮影戲形成考
中国都市芸能研究 8

中鉢 雅量
敦煌作品研究・創刊の辞
敦煌作品研究 1

中鉢 雅量
書評・項楚・張 子開・譚偉・何 劍平『唐代白話詩派研究』

敦煌作品研究 1

陳 念波

《捉季布伝文》校補

開篇 28

成実 朋子

『スーホの白い馬』と中国の民間故事「馬頭琴」について

学大国文 52

二階堂 善弘

中国の民間信仰における冥界観 (特集 東アジアの死者の行方と葬儀)

アジア遊学 124

二ノ宮 聡

炳靈公信仰と『封神演義』

関西大学中国文学会紀要 30

橋本 草子

中国俗曲唱本テキスト『二十四孝』

人文論叢 57(京都女子大学)

森 雅子

中国の星の神話・断章 (特集 天空の神話学) (モンゴロイドの神話世界)

アジア遊学 121

山下 一夫

海寧皮影戯『三角金磚』と蚕花五聖信仰

中国都市芸能研究 8

俞 忠 [キン] 鑫 (金が三つ)・笠井 直美訳

釈“莽、阿莽, 没、阿没”、“= =”

敦煌作品研究 1

姚 偉嘉

成化本《花関索伝》校正二則

開篇 28

梁 曉虹・勝股 高志訳

書評・陳 明娥『敦煌変文辞彙計量研究』

敦煌作品研究 1

10 日本漢文学

浅山 佳郎・大島 晃・滝 康秀他

羅山随筆抄訓釈稿(3)

漢文学解釈与研究 11

石川 忠久・詹(せん) 満江・三上 英司・遠藤 星希・高芝 麻子・大戸 温子・市川 桃子

菅茶山詩読解報告(一)

中国文史論叢 5

王 迪

人見ト幽軒の学問と『莊子』の狂

鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

太田 亨

日本中世禅林における柳宗元受容 中期の場合

愛媛大学教育学部紀要 56

太田 亨

日本中世禅林における柳文解釈 「乗桴説」について

中国古典文学研究 7

片岡 竜

(書評)「文学史」と「思想史」の融合 『日野竜夫著作集』(全三巻 ペリかん社、2005年)

中国-社会と文化 24

加藤 国安

近代日本版『文章軌範』編集の情熱 簡野道明の[東京]府師範期の歩み
東洋古典学研究 28

川島 優子

江戸時代における白話小説の読まれ方 鹿児島大学付属図書館玉里文庫蔵「金瓶梅」を中心として
中国中世文学研究 56

金 程宇

内藤湖南の漢詩について
文学 10(3)

小財 陽平

広瀬淡窓、李白への挑戦 「月下独酌」論
文学 10(3)

小助川 貞次

東アジア学術交流史としての漢文訓読
富山大学人文学部紀要 51

後藤 昭雄・佐藤 道生・堀川 貴司他

《座談会》日本漢詩のエートス
文学 10(3)

坂田 進一

市野迷庵手抄『東皐琴譜』補筆 上
風絮 5

柴田 清継・蔣 海波

水越耕南の初期の作品とその漢詩文ネットワーク 『開口新詞』と『薇山摘葩』をめぐって
武庫川国文 73

柴田 清継・蔣 海波

漢詩人水越耕南(一八四九～一九三三)研究序説 その生涯と著作
武庫川国文 72

柴田 清継・蔣 海波

水越耕南と『萍水相逢』 併せて萍水吟社について
武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編 57

直井 文子

頼山陽の真「狂」
鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

直井 文子

斎藤拙堂と「狂」
鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

二宮 俊博

津阪東陽『杜律詳解』訳注稿(十一)
椋山女学園大学文化情報学部紀要 9(2)

萩原 正樹

中国における日本詞研究について
立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要 3

福井 辰彦

書評:森岡ゆかり著『近代漢詩のアジアとの邂逅 鈴木虎雄と久保天随を軸として』
和漢比較文学 42

堀川 貴司

『九淵詩稿』について 室町時代一禅僧の詩集
文学 10(3)

堀川 貴司
五山文学における詩 注釈を中心として
中国-社会と文化 24

堀口 育男
斎藤竹堂撰『鍼育録』訳註稿(6)
人文コミュニケーション学科論集 7

本間 洋一
『屏風土代』を読む 大江朝綱の漢詩をめぐって
同志社女子大学日本語日本文学 21

町 泉寿郎
海外の日本研究者における日本漢文の需要と対応 (内外東方学界消息(117))
東方学 118

都田 潔
『狂雲集』 冒頭六首、付加の意味
汲古 55

山田 尚子
『和漢朗詠註抄』についての再検討
説話文学研究 44

羊 列栄
淇園漢詩学述論 以其画論和易学為背景
文学研究. 106

要木 純一
『松江竹枝』訳注(3)
島大言語文化 27

要木 純一
『松江竹枝』訳注(2)
島大言語文化 26

養老 孟司
荻生徂徠「書物の中の中国」[『十八史略』](識者 34 人の知恵袋 枕頭の歴史書「人物との対話」)
文芸春秋 87(7)

鷲野 正明
『房山集』にみる枕山の詩想と表現(一) 絶句を中心に
国士館大学漢学紀要 11

渡部 英喜
東北の漢詩(9)安積良斎の「鏡沼」詩について
東北文学の世界 17

11 比較文学

Aitoru Terenguto
近代の衝撃と海 鷗外・漱石・魯迅・郁達夫・サイチョンガによって表象された「海」(中-続2)
北海学園大学人文論集 43

阿部 幸夫
中国近代文学と『蟹工船』
東方 340

岩井 宏子
新古今時代の白詩受容 「蘭省花時錦帳下 廬山雨夜草庵中」句をめぐって
白居易研究年報 10

王 徳字
『方丈記』と『白氏文集』 「方丈」・「方寸」をめぐって
文明の科学 8

大木 康
馮夢竜「三言」から上田秋成『雨月物語』へ 語り物と読み物をめぐって (特集 上田秋成 没後 200年)
文学 10(1)

小田切 文洋
中国語訳『源氏物語』の訳者とその訳文について(1)
国際関係学部研究年報 30

夏 嵐
中国におけるシェイクスピア戯曲の翻訳と出版
富山大学人文学部紀要 51

金木 利憲
藤原定家『奥入』所引の漢籍 『白氏文集』を中心として
白居易研究年報 10

金 永昊
『剪灯新話』「翌々伝」の影響の諸相 日本・朝鮮・ベトナムの翻案作が求めたもの
中国古典小説研究 14

金 中
三四三四三形式による和歌の漢訳
中国詩文論叢 28

島村 輝
中国における『蟹工船』について
東方 340

新間 一美
源氏物語賢木巻における白詩受容 薔薇の初花とその周辺
白居易研究年報 10

崔 海燕
二人の南子 谷崎潤一郎「麒麟」と林語堂「子見南子」
早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊 17- 1

宋 成徳
霧を詠む万葉歌と中国文学 「嘆きの霧」を中心に
和漢比較文学 42

Ch'en Yan-ch'i
老舎『微神』とダンテ『神曲』 イギリス・ロマン主義およびモダニズムを媒介とする影響関係をめぐって
東方学 118

張 晋文
「われから」と「金鎖記」の比較研究 孤閨文化の指向するもの
国文 112

張 新力
日本の『蟹工船』ブームと中国の国語教科書からの『包身工』の削除について
言語と文化 20(愛知大学)

張 凌志
『西鶴諸国ばなし』「因果のぬけ穴」試論 『莊子』髑髏寓話との関連をめぐって
和漢語文研究 7

陳 [チュウ](虫へんに羽)
『政事要略』所収の「白居易伝」を読み解く 白居易の生卒年・家庭環境・成仏に関する諸問題を中心に
白居易研究年報 10

陳 明姿

竜の変容 今昔物語集と中国文学 (特集 古典キャラクターの展開) (日中の古典)
アジア遊学 118

塚越 義幸
『おくのほそ道鈔』と漢詩文(7)その引用と解釈をめぐって
野州国文学 82

長瀬 由美
中唐白居易の文学と『源氏物語』 諷諭詩と感傷詩の受容について
国語と国文学 86(5)

中野 方子
書評 田中幹子著『和漢・新撰朗詠集の素材研究』
和漢比較文学 42

中林 史朗
日本人に於ける三国志とは 見るのか、読むのか、江戸から現代まで
大東文化大学漢学会誌 48

成実 朋子
『スーホの白い馬』と中国の民間故事「馬頭琴」について
学大國文 52

仁木 夏実
書評 中野方子著『平安前期歌語の和漢比較文学的研究』
和漢比較文学 42

波戸岡 旭
白居易「閑適」詩と島田忠臣の詩境 島田忠臣詩に見える白居易詩境からの行禅の享受
白居易研究年報 10

日向 一雅
『源氏物語』と『尚書』 注釈史における儒教的言説と物語の方法
和漢比較文学 42

堀 誠
中島敦における記と伝
中国詩文論叢 28

増子 和男
中島作品の源泉 中国古典を読む
増子 和男・林 和利・勝又 浩『大人読み「山月記」』明治書院

増子 和男
のっぺらぼう考 中国古典文学の観点から(下)
中国詩文論叢 27

増子 和男
獺怪異譚の盛衰をめぐって(上)
中国詩文論叢 28

森岡 ゆかり
唐宋明清詩と芥川竜之介 「漢文漢詩の面白味」をめぐって
中唐文学会報 16

森瀬 寿三
「奥の細道」再考 中国文学との関わりから
東方 336

諸田 竜美
恋と女の日中文学 「一国文学史観」を越えて
東アジア文化環流 3

山崎みどり
泉鏡花「春昼」と李賀 李賀詩愛好の系譜

新しい漢字漢文教育 48

山田 尚子

『和漢朗詠註抄』についての再検討
説話文学研究 44

柳川 順子

舞楽「抜頭」の渡来経路について
巖島研究 5

リディア リウ著・中里見 敬訳

普遍性を立法する：19世紀における国際法の流通
言語文化論究 24

渡辺 晴夫

書評 小田切文洋著『江戸明治唐話用例辞典』
国際文化表現研究 5 (レポート笠間 50 に転載)

12 書誌・目録

赤尾栄慶

漢籍善本紹介 京都国立博物館(3)
新しい漢字漢文教育 48

有木 大輔

早稲田大学図書館所蔵天明二年初版『唐詩選国字解』について
中国文学論集 38

稲垣 信子

天理図書館蔵『貞和本和漢朗詠集』の訓点をめぐって
同志社女子大学日本語日本文学 21

稲畑 耕一郎

『宋元書景』をめぐると二三のこと 黎明期の古籍影印事業の試み
中国文学研究 35

宇都宮 啓吾

智積院新文庫蔵『管見抄』(断簡)について
白居易研究年報 10

落合 博志

墨蹟と五山版 宋元代禅僧等書蹟資料としての五山版の序跋
アジア遊学 122

笠井 直美

北京大学図書館蔵『忠義水滸全伝』 「万曆袁無涯原刊」情報の一人歩き
名古屋大学中国語学文学論集 21

金木 利憲

日本大学文理学部蔵 伝尊円親王筆「琵琶行」双鉤填墨本について
中国学研究論集 22

許 紅霞

由南宋詩僧詩文集看和刻本漢籍的价值
中国語中国文化 6

金 恩景・渡瀬 淳子訳

一九八〇年以降の韓国における宋代文学研究 詩と詞の研究を中心に[含 研究論著目録]
橄欖 16

下定 雅弘

日本における白居易の研究 二〇〇七年
白居易研究年報 10

鈴木 拓也

李商隠関係研究文献目録(稿) 日本編

高橋 裕次

漢籍善本紹介 東京国立博物館(1)

新しい漢字漢文教育 49

田中 靖彦

三国志に親しむための文献紹介

漢文教室 195

陳 正宏

琉球本と福建本 『二十四孝』『童子[セキ]撫談』を例にして

中国文学論集 38

中塚 亮

青木文庫蔵画像資料目録

名古屋大学中国語学文学論集 21

長谷部 剛

敦煌残卷王勃詩について

関西大学中国文学会紀要 30

向嶋 成美・大橋 賢一・樋口 泰裕・渡辺 大

程千帆・徐有富著『校讎広義 目録編』第二章「目録の結構及其功用」

文学部紀要 23(1)

村越 貴代美

『魏氏楽譜』中の詞について

風絮 5

山口 謡司

「経籍訪古志」をよむ(8)越刊八行本『尚書正義』

アジア遊学 121

芳村 弘道

留滬半年経眼書録抄(上)

学林 49

13 補遺

阿部 幹雄

魯迅の言語観と「抗い」をめぐって

現代中国 82

伊藤 徳也

審美価値としての「苦」 周作人における「生活の芸術」

現代中国 82

伊藤 徳也

周作人と「頹廢派文人」

超域文化科学紀要 13

大塚 秀高

両漢開國中興伝誌・全漢志伝版本源流考

平成 19 年度研究成果報告書『前漢書平話前集・後集の復元を通して見た全相平話』

大塚 秀高

前漢書平話続集・全漢志伝・両漢開國中興伝誌輯校本(試行本)

平成 19 年度研究成果報告書『前漢書平話前集・後集の復元を通して見た全相平話』

大塚 秀高

全漢志伝・両漢開國中興伝誌・漢書故事輯校本(試行本)並びに研究序説

埼玉大学大学院文化科学研究科博士後期課程紀要 日本アジア研究 5

大塚 秀高

創作系短篇小説考 『醒世恒言』巻二十「張廷秀逃生救父」を中心に

江戸文学 38

大塚 秀高

書評：『西遊記』資料の研究』
東北大学出版会会報「宙」21

大東 和重

郁達夫におけるワイルドの受容 唯美主義と個人主義
現代中国 82

河内 利治・安達 直哉

平成 20 年度科学研究費補助金 基盤研究 B<海外学術調査>研究報告 研究課題:アメリカ収蔵「書跡」
の基礎データ収集と整理のための調査研究
大東書道研究 16

河内 利治

The influence of Chinese calligraphy technique on Japanese calligraphic Saint Kukai (774-835)
大東書学 9

河内 利治

何紹基の書法とその影響
大東文化大学紀要 人文科学 46

河内 利治編

2008 年度研究報告書 西岳華山廟碑〔双鈎本〕
大東文化大学人文科学研究所 2009 年 3 月

黄 孟文著・渡辺 晴夫訳

お役人の椅子（官椅）
蓮霧 2

後藤 典子

淪陷区の上海における映画雑誌「新影壇」について
現代中国 82

希尼爾著・渡辺 晴夫訳

ブラガンマティ（布拉崗馬地）
蓮霧 2

周 蜜蜜著・渡辺 晴夫訳

雪ちゃんとびばこをとぶ（雪雪跳木馬）
中国児童文学 18

藤田 梨那

90 年代中国の新しい韓人題材小説 歴史小説『船月』の意義
現代中国 82

林 高著・渡辺 晴夫訳

お母さんを画く（把媽媽画出来）
虹の図書室 2（4）

渡辺 晴夫

佐藤春夫の「支那」趣味について
東アジア比較文化研究 7

渡辺 晴夫

シンガポール、マレーシア、フィリピン及びアメリカの微型小説
蓮霧 2

2009 年日本刊行中国文学関係単行本リスト

分類

作者

タイトル

出版者

総記

相田洋

橋と異人 境界の中国中世史（研文選書）

研文出版

阿辻哲次

漢字文化の源流（京大人気講義シリーズ）

丸善

石川忠久 編

漢詩鑑賞事典（講談社学術文庫）

講談社

石川忠久 監修

NHK 新漢詩紀行 友愛深厚篇

NHK 出版

石川忠久 監修

NHK 新漢詩紀行 山河悠久篇

NHK 出版

石川忠久 監修

NHK 新漢詩紀行 人生有情篇

NHK 出版

石川忠久・吉澤鐵之 書

書で味わう漢詩の世界 絶句名作選

二玄社

一海知義

一海知義著作集 9 漢詩の世界 3 中唐～現代 / 日本 / ベトナム

藤原書店

猪口篤志

中国歴代漢詩選

右文書院

大阪大学中国文学研究室 編

中国文学のチチェローネ 中国古典歌曲の世界（汲古選書 49）

汲古書院

大西克也・宮本徹

アジアと漢字文化

放送大学教育振興会

過偉・君島久子 監訳・新島翠 訳・林雅子 訳

中国女神の宇宙

勉誠出版

串田久治

王朝滅亡の予言歌 古代中国の童謡（あじあブックス 066）

大修館書店

後藤秋正

更に尽くせ一杯の酒 中国古典詩拾遺（研文選書）

研文出版

佐藤保 編

鳳よ鳳よ 中国文学における 狂

汲古書院

芝豪

中国おもしろ英傑伝(学びやぶっく7)

明治書院

新納泉・山口和子・鐸木道剛 編

揺らぎの中の日本文化 原像・怪異・日本美術

岡山大学出版会

高田時雄 編

漢字文化三千年

臨川書店

竹内康浩

中国の復讐者たち ともに天を戴かず(あじあブックス)

大修館書店

武田雅哉

中国乙類図像漫遊記

大修館書店

塚本嘉壽

中国古典と漢字の精神病理学

勉誠出版

土屋英明

中国の閨房術(エソテリカ・セレクション)

学習研究社

富谷至 編

漢字の中国文化

昭和堂

中村裕一

中国古代の年中行事 第一冊 春

汲古書院

中村裕一

中国古代の年中行事 第二冊 夏

汲古書院

ジョセフ・ニーダム・牛山輝代 編訳・山田慶兒 訳・竹内迪也 訳・内藤陽哉 訳

ニーダム・コレクション(ちくま学芸文庫)

筑摩書房

西林昭一

中国書道文化辞典

柳原出版

林巳奈夫

中国古代の生活史(歴史文化セレクション)

吉川弘文館

原宗子

環境から解く古代中国(あじあブックス)

大修館書店

松下緑

松下緑漢詩戯訳 七五調で味わう 人生の漢詩

亜紀書房

松原朗・佐藤浩一・児島弘一郎

教養のための中国古典文学史

研文出版

松村茂樹
呉昌碩研究
研文出版

守屋洋
はじめての人にもわかる十八史略の人間学
新人物往来社

八木章好
「三国志」漢詩紀行
集英社

幸重敬郎
中国英雄列伝を漢文で読んでみる
ベレ出版

鷺野正明
漢詩と名蹟
二玄社

漢魏晋南北朝
石川忠久 編著
漢魏六朝の詩 上
明治書院

石川忠久 編著
漢魏六朝の詩 下
明治書院

石島快隆 訳註
抱朴子(復刊)
岩波書店

一海知義
一海知義著作集 8 漢詩の世界 2 六朝以前～中唐
藤原書店

一海知義
一海知義著作集 1 陶淵明を読む
藤原書店

井波律子
中国人の機智『世説新語』の世界(講談社学術文庫)
講談社

慧皎・吉川忠夫 訳・船山徹 訳
高僧伝 1
岩波書店

慧皎・吉川忠夫 訳・船山徹 訳
高僧伝 2
岩波書店

加来耕三
諸葛孔明は二人いた 隠されていた三国志の真実(講談社+ 新書)
講談社

川合康三
曹操 矛を横たえて詩を賦す
筑摩書房

坂口和澄
正史三国志 英雄奇談
角川学芸出版 / 角川グループパブリッシング発売

下見隆雄
『華陽国志』列女伝記 中国古代女性の生き方
明德出版社

島崎晋
いっきに読める三国志 豪勇無双の男たちの覇権をかけた物語
PHP 研究所

立間祥介・丹羽隼兵
三国志事典（岩波ジュニア新書）
岩波書店

林田慎之助
三国志と乱世の詩人
講談社

渡辺精一 監修
図解 三国志 普及版（歴史がおもしろいシリーズ！）
西東社

隋唐五代
一海知義
一海知義著作集 8 漢詩の世界 2 六朝以前～中唐
藤原書店

宇野直人・江原正士
杜甫 偉大なる憂鬱
平凡社

宇野直人・江原正士
李白 巨大なる野放図
平凡社

宇野直人
NHK カルチャーラジオ 漢詩をよむ 漢詩の来た道（唐代前期）
NHK 出版

宇野直人
NHK カルチャーラジオ 漢詩をよむ 漢詩の来た道（唐代後期）
NHK 出版

大島正二
唐代の人は漢詩をどう詠んだか 中国音韻学への誘い
岩波書店

興膳宏
杜甫 憂愁の詩人を超えて（書物誕生 あたらしい古典入門）
岩波書店

下定雅弘
柳宗元 逆境を生きぬいた美しき魂
勉誠出版

鈴木虎雄 注釈
李長吉歌詩集 上（復刊）
岩波書店

鈴木虎雄 注釈
李長吉歌詩集 下（復刊）
岩波書店

鈴木哲雄
唐代の禅僧 9 雪峰 祖師禅を实践した教育者
臨川書店

高木重俊
唐代科挙の文学世界
研文出版

中原健二
宋詞と言葉
汲古書院

幼学の会 編
太公家教注解
汲古書院

李浩・松原朗 訳・山田智 訳・石村貴博 訳
唐代 文学士族 の研究 關中・山東・江南の三地域に即し
研文出版

宋
一海知義
一海知義著作集 3 陸游と語る
藤原書店

伊原弘
中国都市の形象 宋代都市の景観をよむ
勉誠出版

興膳宏・木津祐子・齋藤希史 訳註
『朱子語類』訳注 卷十～十一
汲古書院

近藤一成
宋代中国科挙社會の研究（汲古叢書 83）
汲古書院

中原健二
宋詞と言葉
汲古書院

横山伊勢雄
宋代文人の詩と詩論（創文社東洋学叢書）
創文社

古原宏伸
米[フツ]芾 『画史』註解 上
中央公論美術出版

金元明
荒木猛
金瓶梅研究（佛教大学研究叢書）
思文閣出版

安野光雅，半藤一利
三国志談義
平凡社

井波律子
中国の五大小説 下 水滸伝・金瓶梅・紅樓夢
岩波書店

内田重久
それからの三国志
文芸社

内山知也 監修・明清文人研究会 編
徐文長

白帝社

易中天・鄒柄治郎 訳
三国志 素顔の英雄たち 下
富士房インターナショナル

加来耕三
諸葛孔明は二人いた 隠されていた 三国志の真実（講談社+ 新書）
講談社

桂万栄 編・駒田信二 訳
棠陰比事（重版）
岩波書店

小日向えり
歴ドル小日向えりの恋する三国志
青志社

三国志武将研究会
三国志 周瑜 無敵の軍師
PHP 研究所

三国志武将研究会
三国志 諸葛亮 美しい天才軍師
PHP 研究所

三国志武将研究会
三国志 劉備 仁徳の名君
PHP 研究所

三国志武将研究会
三国志 関羽 史上最強の軍神
PHP 研究所

三国志武将研究会
三国志 趙雲 忠義の武将
PHP 研究所

瀧本弘之 編
中国古典文学挿画集成 六 全相平話五種 / 三國志演義（宝翰楼本）
遊子館

立間祥介・丹羽隼兵
三国志事典（岩波ジュニア新書）
岩波書店

超音速 編
水滸伝の108人がよくわかる本
ぶんか社

中野美代子
『西遊記』XYZ このへんな小説の迷路をあるく（講談社選書メチエ）
講談社

野村鮎子
歸有光文学の位相
汲古書院

別冊宝島編集部 編
三国志演義のウソとタブー
宝島社

松村昂 編著
明人とその文学
汲古書院

三浦伸昭
昭烈三国志
文芸社

満田剛
三国志 赤壁伝説
白帝社

羅貫中 撰・川合章子 訳
原典抄訳「三国志」上 胸踊る英雄たちの活躍と運命の赤壁（講談社＋ 文庫）
講談社

羅貫中 撰・川合章子 訳
原典抄訳「三国志」下 滅びゆく英雄たちと秋風の五丈原（講談社＋ 文庫）
講談社

渡辺精一
三國志人物事典 上
講談社

渡辺精一
三國志人物事典 中
講談社

渡辺精一
三國志人物事典 下
講談社

編集部編
三国志 英傑大事典（別冊宝島 1612）
宝島社

清
井波律子
中国の五大小説 下 水滸伝・金瓶梅・紅樓夢
岩波書店

袁枚・手代木公助 訳
子不語 1（東洋文庫 788）
平凡社

袁枚・手代木公助 訳
子不語 2（東洋文庫 790）
平凡社

袁枚・手代木公助 訳
子不語 3（東洋文庫 792）
平凡社

黒田真美子編著・竹田晃 編
中国古典小説選 9 聊齋志異 1 清代 1
明治書院

竹田晃・黒田真美子 編著
中国古典小説選 10 聊齋志異 2 清代 2
明治書院

蒲松齡・増田涉 訳・松枝茂夫 訳・常石茂 訳
中国怪異譚 聊齋志異 1・2（平凡社ライブラリー）
平凡社

蒲松齡・増田涉 訳・松枝茂夫 訳・常石茂 訳・古瀬敦 訳
中国怪異譚 聊齋志異 3（平凡社ライブラリー）
平凡社

蒲松齡・増田渉 訳・松枝茂夫 訳・常石茂 訳・古瀬敦 訳
中国怪異譚 聊斎志異 4 (平凡社ライブラリー)
平凡社

蒲松齡・増田渉 訳・松枝茂夫 訳・常石茂 訳・稲田孝 訳
中国怪異譚 聊斎志異 5 (平凡社ライブラリー)
平凡社

松村茂樹
吳昌碩研究
研文出版

近現代
飯塚容・瀬戸宏・平林宣和・松浦恆雄 編著
文明戯研究の現在 春柳社百年記念国際シンポジウム論文集
東方書店

飯塚容・中山文 訳
中国現代戯曲集 第九集 曹禺特集【上】
晩成書房

飯塚容・内山鶉 訳
中国現代戯曲集 第九集 曹禺特集【下】
晩成書房

魚住悦子・下村作次郎 編訳・解説
海人・獵人 シャマン・ラボガン集 / アオヴィニカ・カドゥスガヌ集 (台湾原住民文学選 7)
草風館

宇田禮
艾青という詩人 中国人にとっての二十世紀
新読書社

岡田祥子 訳・編
新中国を生きた作家 蕭乾
幻冬舎ルネッサンス

岡庭昇
漱石・魯迅・フォークナー 桎梏としての近代を越えて
新思索社

萩野脩二
謝冰心の研究
朋友書店

賈樟柯・岡本肇 訳・構成
賈樟柯説賈樟柯 ジャー جانクーみずからをかたる
ブイツーソリューション / 星雲社発売

加藤徹
梅蘭芳 世界を虜にした男
ビジネス社

川瀬健一 編
台湾映画 2009年
東洋思想研究所

河原功
翻弄された台湾文学 検閲と抵抗の系譜
研文出版

金庸・小島瑞紀 訳・岡崎由美 訳
鹿鼎記 2 天地会の風雲児
徳間書店

金庸・岡崎由美 訳・小島瑞紀 訳
鹿鼎記 3 五台山の邂逅
徳間書店

金庸・岡崎由美 訳・小島瑞紀 訳
鹿鼎記 4 二人の皇太后
徳間書店

金庸・岡崎由美 訳・小島瑞紀 訳
鹿鼎記 5 経典争奪
徳間書店

金庸・岡崎由美 訳・小島瑞紀 訳
鹿鼎記 6 クレムリンの女帝
徳間書店

金庸・岡崎由美 訳・小島瑞紀 訳
鹿鼎記 7 故郷再び
徳間書店

金庸・岡崎由美 訳・小島瑞紀 訳
鹿鼎記 8 栄光の彼方
徳間書店

金庸 原作・李志清 作画・土屋文子 訳・岡崎由美 訳
射[チョウ 周+鳥]鵬英雄伝 1 十八年後の約束(トクマコミックス)
徳間書店

金庸 原作・李志清 作画・土屋文子 訳・岡崎由美 訳
射[チョウ 周+鳥]鵬英雄伝 2 草原の覇者ジンギスカーン(トクマコミックス)
徳間書店

金庸 原作・李志清 作画・土屋文子 訳・岡崎由美 訳
射[チョウ 周+鳥]鵬英雄伝 3 婿取り試合(トクマコミックス)
徳間書店

金庸 原作・李志清 作画・土屋文子 訳・岡崎由美 訳
射[チョウ 周+鳥]鵬英雄伝 4 愛は生死を超えて(トクマコミックス)
徳間書店

金庸 原作・李志清 作画・土屋文子 訳・岡崎由美 訳
射[チョウ 周+鳥]鵬英雄伝 5 降龍十八掌(トクマコミックス)
徳間書店

草森紳一
中国文化大革命の大宣伝 上
芸術新聞社

草森紳一
中国文化大革命の大宣伝 下
芸術新聞社

向陽・三木直大 訳
乱 向陽詩集(台湾現代詩人シリーズ8)
思潮社

是永駿 編訳
北島(ペイタオ)詩集
書肆山田

ジェイ・ルービン 編
1Q84 スタディーズ BOOK 1
若草書房

ジャ・ジャンクー・丸川哲史 訳・佐藤賢 訳
ジャ・ジャンクー「映画」「時代」「中国」を語る
以文社

席慕容・池上貞子 訳
契丹のバラ 席慕容詩集（台湾現代詩人シリーズ7）
思潮社

竹内実
竹内実〔中国論〕自選集 3 映像と文学
桜美林大学北東アジア総合研究所

竹内好 訳
魯迅文集 1（重版）
筑摩書房

竹内好 訳
魯迅文集 2（重版）
筑摩書房

竹内好 訳
魯迅文集 3（重版）
筑摩書房

竹内好 訳
魯迅文集 4（重版）
筑摩書房

竹内好 訳
魯迅文集 5（重版）
筑摩書房

竹内好 訳
魯迅文集 6（重版）
筑摩書房

樽本照雄
林[シヨ 糸 + 予]紆研究論集
清末小説研究会

中国現代文学翻訳会 編
中国現代文学 4
ひつじ書房

張季琳
台湾における下村湖人 文教官僚から作家へ
東方書店

陳凱歌
花の生涯 梅蘭芳 写真集
角川書店

陳凱歌 監督脚本・巖歌苓 脚本・古沢保 ノベライズ
花の生涯 梅蘭芳
角川書店

鶴見俊輔 編
アジアが生みだす世界像 竹内好の残したもの
SURE

中里見敬・中尾友香梨
濱一衛と京劇展：濱文庫の中国演劇コレクション
九州大学附属図書館

藤井省三 編

東アジアが読む村上春樹 東京大学文学部中国文学科国際共同研究 (MURAKAMI Haruki STUDY BOOKS
12)
若草書房

北条常久
詩友 国境を越えて
風涛社

丸山まつ 編
丸山昇遺文集 第1巻 1951-1967
汲古書院

丸山まつ 編
丸山昇遺文集 第2巻 1968-1980
汲古書院

楊義・張中良・中井政喜著・森川(麦生)登美江 訳・星野幸代 訳・中井政喜 訳
二十世紀中国文学図志(学術叢書)
学術出版会

四方田犬彦
怪奇映画天国アジア
白水社

藍霄・玉田誠 訳
アジア本格リーグ 1 錯誤配置
講談社

リー・ツンシン・井上実 訳
毛沢東のパレエダンサー
徳間書店

劉震雲・劉燕子 訳・竹内実 監修
ケータイ
桜美林大学北東アジア総合研究所

林少陽
「修辞」という思想 章炳麟と漢字圏の言語的批評理論
白澤社/現代書館発売

魯迅・バラエティ・アートワークス 漫画
阿Q正伝 まんがで読破
イーストプレス

魯迅・藤井省三 訳
故郷/阿Q正伝(光文社古典新訳文庫)
光文社

老舎・立間祥介 訳
駱駝祥子(復刊)
岩波書店

リグデン・佐治俊彦 訳・ボルジギン・ブレンサイン 訳
地球宣言 大草原の偉大なる寓話
教育史料出版会

渡邊晴夫・李萍 訳・劉静 訳
超短篇小説序論 中国的微型小説与日本的掌篇、Short-short
DTP

民間文学・習俗
遠藤耕太郎
古代の歌 アジアの歌文化と日本古代文学(DVD付)
瑞木書房

小川直之 編・解説
日本民俗選集 第5巻 満洲・支那の習俗
クレス出版

過偉・君島久子 監訳・新島翠 訳・林雅子 訳
中国女神の宇宙
勉誠出版

君島久子
「王さまと九人の兄弟」の世界
岩波書店

辰巳正明
歌垣 恋歌の奇祭をたずねて
新典社

田仲一成・小南一郎・斯波義信 編
中国近世文芸論 農村祭祀から都市芸能へ
東方書店

Ch. チメグバートル 監修・初山素子 訳・再話・藤原道子 絵
大草原に語りつがれるモンゴルのむかし話
PHP 研究所

中里見敬,・中尾友香梨
濱一衛と京劇展：濱文庫の中国演劇コレクション
九州大学附属図書館

野村伸一
東シナ海祭祀芸能史論序説
風響社

森田明
山陝の民衆と水の暮らし その歴史と民俗（汲古選書 50）
汲古書院

山田敦士
スガンリの記憶 中国雲南省・ワ族の口頭伝承（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 叢書
知られざるアジアの言語文化 3）
雄山閣

幼学の会 編
太公家教注解
汲古書院

李祖定 編・山村敏江 訳註・黒門 監修
中国伝統吉祥図案
説話社

アジア学叢書 中国を知る ・人と風土編（全 10 巻）
大空社

日本漢文学
足立大進 編
禅林句集
岩波書店

石毛慎一
日本近代漢文教育の系譜
湘南社

一海知義
一海知義著作集 4 人間河上肇
藤原書店

揖斐高
近世文学の境界 個我と表現の変容
岩波書店

京都大学国文学研究室・中国文学研究室 編
良基・絶海・義満等一座 和漢聯句譯註
臨川書店

杉仁
近世の在村文化と書物出版
吉川弘文館

永井荷風
下谷叢話（重版）
岩波書店

中谷伸生 編著
東アジアの文人世界と野呂介石 中国・台湾・韓国・日本とポーランドからの考察（関西大学東西学術研究所研究叢刊 32）
関西大学出版部

二宮俊博
明治の漢詩人中野逍遙とその周辺
知泉書館

濱久雄
岸上質軒の漢詩と人生
明德出版社

町田三郎
明治の青春 続 明治の漢学者たち
研文出版

村山吉廣
忍藩儒 芳川波山の生涯と詩業
明德出版社

森岡ゆかり
文豪だって漢詩をよんだ
新典社

頼成一・伊藤吉三 訳註
頼山陽詩抄（復刊）
岩波書店

比較文学
赤松紀彦・小松謙・山崎福之 編
能楽と崑曲 日本と中国の古典演劇をたのしむ
汲古書院

遠藤耕太郎
古代の歌 アジアの歌文化と日本古代文学（DVD 付）
瑞木書房

金光仁三郎
大地の神話 ユーラシアの伝承
中央大学出版部

西條勉
アジアのなかの和歌の誕生
笠間書院

辰巳正明
歌垣 恋歌の奇祭をたずねて

新典社

中谷伸生 編著

東アジアの文人世界と野呂介石 中国・台湾・韓国・日本とポーランドからの考察（関西大学東西学術研究所研究叢刊 32）

関西大学出版部

増子和男・林和利・勝又浩

大人読み『山月記』

明治書院

書誌・目録

京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター 編

東洋学文献類目 2006年度 朋友書店発売

慶應義塾図書館 和漢貴重書目録

慶應義塾大学出版会

佐藤道生 編

慶應義塾図書館の蔵書

慶應義塾大学出版会

藝文類聚（巻八十二）訓読付索引

大東文化大学東洋研究所

長澤規矩也・長澤孝三 編著

新編 史跡足利学校所蔵古書分類目録

汲古書院

補遺

河内利治

Calligraphie Kunpei KAWACHI avec ses élèves

白帝社

河内利治

Brush and Ink Kunpei KAWACHI

白帝社

渡邊晴夫

微型小説：発展与交流

2 B 企画